

別紙 2－1

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件

人口動態調査事務システム標準仕様書
機能・帳票要件【改定履歴】

版数	改定日	主な改定理由	機能ID	機能IDの変更状況 (削除／新規付番／変更なし)	適合基準日
第1.0版	令和5年8月31日	初版公開	—	—	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	事件簿のプレビュー機能について、自治体ごとに実務上の差異があることが判明したため、実装類型を実装必須機能から標準オプション機能に変更する	0380289	変更なし	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	出力日の管理は不要であることが判明したことから、出力日の登録に関する機能要件を削除する	0380307	削除	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	「死産票の受理証明書」から「死産届の受理証明書」という記述に修正する 受理証明書の出力イメージの確認について、「入力画面上で出力イメージが確認できる機能の実装でも可とする。」という記述を追加する	0380311	変更なし	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	調査票の各項目の文字制限を超過した際に、備考欄を活用できる要件を追加する	0380313	新規付番	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	印刷設定の機能要件の見直しを行い、印刷時の出力プリンタの変更と用紙(カセット)指定ができることを定義する 印刷設定の機能要件について、実装累計を標準オプション機能から実装必須機能に変更する	0380043	変更なし	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	誤記の修正	0380039 0380050	変更なし	令和8年4月1日
第2.0版	令和7年1月31日	各調査票の備考欄に対する入力文字数の上限が人口動態調査事務システム標準仕様書(別冊)外部連携仕様に準拠することを追記	0380313	変更なし	令和8年4月1日
第3.0版	令和7年8月29日	要件の考え方・理由欄に、出力可能な帳票種類が一覧形式で表示できることについて補足する	0380041	変更なし	令和8年4月1日
第3.0版	令和7年8月29日	共同親権の対応に伴う機能要件の見直しと項目名の統一を行う	0380179	変更なし	令和8年4月1日
第3.0版	令和7年8月29日	調査票の紙媒体出力機能に係る機能要件の見直しを行う	0380280	変更なし	令和8年4月1日
第3.0版	令和7年8月29日	誤記の修正	0380291 0380297	変更なし	令和8年4月1日
第3.0版	令和7年8月29日	調査票の枠及びデータ印字機能並びに枠のみの印刷機能に係る機能要件を追加する	0380314	新規付番	令和8年4月1日

機能・帳票要件一覧

※大項目が数字の事業が標準仕様書の対象範囲、英字は標準仕様書の対象範囲外となる。

大項目		中項目	機能ID	頁番号	
人口動態調査事務	00 共通	0.1 他システム連携	0380001～0380004	…	4
		0.2 マスタ管理機能	0380005～0380027		
		0.3 帳票作成管理機能	0380028～0380035		
		0.4 一覧管理機能	0380036～0380038		
		0.5 帳票出力機能	0380039～0380044		
		0.6 ログ管理機能	0380045～0380047		
		0.7 操作権限設定・管理機能	0380048～0380051		
		0.8 データ保存	0380052		
	01 調査票	1.1 調査票作成機能	0380053～0380271	…	16
		1.2 調査票検索機能	0380272		
		1.3 調査票一覧管理機能	0380273～0380275		
		1.4 調査票出力機能	0380276～0380283		
	02 事件簿	2.1 調査票検索機能	0380284	…	78
		2.2 事件簿一覧管理機能	0380285～0380288		
		2.3 事件簿出力機能	0380289～0380292		
	03 人口動態調査市町村送付票	3.1 送付票作成機能	0380293～0380296	…	80
		3.2 送付票検索機能	0380297		
		3.3 送付票一覧管理機能	0380298～0380299		
		3.4 送付票出力機能	0380300～0380307		
	04 受理証明書	4.1 死産票作成機能	0380308	…	83
		4.2 死産票検索機能	0380309		
		4.3 死産票一覧管理機能	0380310		
		4.4 受理証明書出力機能	0380311～0380312		

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通													
00 共通	0.1 他 システム連携	0.1.1 戸籍 情報シ ステムとの 連携	戸籍情報シ ステムとの 連携		0380001	調査票作成時、届書の処分決定又は決裁時に戸 籍情報システムから届書情報を受信できること。 ※1 共通基盤等との連携を含む。 ※2 データの参照、取り込みは問わず、人口動態 調査事務システムで利用できること。 ※3 連携頻度は随時。 ※4 戸籍情報システムから引き渡されるレコード のフォーマットが変更になる場合は必要な措置を 講じること。 ※5 国籍の名称と国籍コードのマスタを突合し、国 籍のコードを設定すること。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整 方針(令和5年6月改定版) による。 戸籍情報システムとの連携 要件を定めている。自治体 の運用やベンダーシステム の形態により様々な運用形 態があるため、標準として必 要と想定される要件を※で 追記している。 ・具体的な連携項目は、デジ タル庁が「機能別連携仕様」 として定めている。 ※4、※5は標準仕様書第三 版「2-2戸籍情報システムと のインタフェース」より引用。		令和8年4月1日
00 共通	0.1 他 システム連携	0.1.2 火葬 等許可事 務システムとの連携	火葬等許可 事務システ ムとの連携		0380002	火葬等許可事務システムに、死産票情報を提供で きること。 ※1 共通基盤等との連携を含む。 ※2 連携頻度は随時。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整 方針(令和5年6月改定版) による。 火葬等許可事務システムと の連携要件を定めている。 自治体の運用やベンダーシ ステムの形態により様々な 運用形態があるため、標準 として必要と想定される要件 を※で追記している。 ・具体的な連携項目は、デジ タル庁が「機能別連携仕様」 として定めている。		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.1 他 システ ム連携	0.1.3 文字 要件	文字要件		0380003	人口動態調査事務システムの文字要件について は、「地方公共団体の基幹情報システムに係る データ要件・連携要件標準仕様書」の規定に準ず る。			◎	◎	各基幹業務システム標準仕 様書の統一基準による。		令和8年4月1日
00 共通	0.1 他 システ ム連携	0.1.4 エ ラー処理	エラー処理		0380004	連携用のデータの取り込み時にエラーが発生した 場合、エラー内容を確認できること。 また、エラー対応後、取り込みの再処理ができるこ と。			○	○			令和8年4月1日
00 共通	0.2 マス タ管理 機能	0.2.1 コー ド管理	コード管理		0380005	コードマスタを管理(登録、修正、削除、照会)でき ること。			◎	◎	・人口動態調査事務システ ム共通で管理するマスタに ついての記載であり、調査 票、事件簿、送付票、受理 証明書で管理するマスタに ついてはそれぞれの要件に 記載している。 ・具体的なコード内容はデジ タル庁がデータ要件(コード 一覧)として定める。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マス タ管理 機能	0.2.2 コー ド管理	コード管理		0380006	機能ID:0380005の実装必須機能に以下も加える こと。 CSV等による取り込み及びデータ入力により、一 括でマスタのメンテナンスができること。			○	○	職員の利便性向上、正確性 向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マス タ管理 機能	0.2.3 電子 公印	電子公印		0380007	帳票に印字する電子公印を管理できること。 ※1 職務代理者の公印も管理できること。 ※2 印影は自治体の要求するサイズで管理でき ることを目的として、画像ファイルの形式、解像度、 容量等について幅広く対応できること。 ※3 帳票印刷時における、電子公印印刷の有無を 設定できること。			◎	◎	各種証明書は、イメージ登 録した公印での発行が認め られているため。 なお、朱印による押印も認 められている。		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.4 電子公印	電子公印		0380008	機能ID:0380007について、支所単位で管理できること。			○	○	支所単位で公印が異なる場合に対応を可能とする。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.5 日本・日本外(マスタ)	日本・日本外(マスタ)		0380009	日本・日本外について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.6 死亡の場所の種別(マスタ)	死亡の場所の種別(マスタ)		0380010	死亡の場所の種別について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.7 死因の種別(マスタ)	死因の種別(マスタ)		0380011	死因の種別について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.8 死産があったところの種別(マスタ)	死産があったところの種別(マスタ)		0380012	死産があったところの種別について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.9 日本・外国の区別(マスタ)	日本・外国の区別(マスタ)		0380013	日本・外国の区別について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.10 日本・外国・不詳の区別(マスタ)	日本・外国・不詳の区別(マスタ)		0380014	日本・外国・不詳の区別について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.11 国籍(マスタ)	国籍(マスタ)		0380015	国籍について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.12 世帯の主な仕事(マスタ)	世帯の主な仕事(マスタ)		0380016	世帯の主な仕事について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.13 職業(マスタ)	職業(マスタ)		0380017	職業について、マスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.14 病名(マスタ)	病名(マスタ)		0380018	病名についてマスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.15 病院情報(病院名)(マスタ)	病院情報(病院名)(マスタ)		0380019	病院情報(病院名)についてマスタで管理できること。			◎	◎	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.16 病院情報(医師名)(マスタ)	病院情報(医師名)(マスタ)		0380020	病院情報(医師名)についてマスタで管理できること。			○	○	職員の利便性向上、正確性向上による。		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.17 市区町村コード(マスタ)	市区町村コード(マスタ)		0380021	市区町村コードについてマスタで管理できること。 ※1 現在の市区町村コードの都道府県名、市・群名、区町村名の表示を参照し、使用予定の市区町村コード等及び使用開始年月日を入力できること。			◎	◎	自自治体について市区町村コードの管理及びメンテナンスができればよい。 標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J41008		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.18 支所・出張所コード(マスタ)	支所・出張所コード(マスタ)		0380022	支所・出張所コードについてマスタで管理できること。 ※1 現在の支所・出張所コードの表示を参照し、使用予定の支所・出張所コード及び使用開始年月日を入力できること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J42008		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.19 保健所コード(マスタ)	保健所コード(マスタ)		0380023	保健所コードについてマスタで管理できること。 ※1 現在の保健所コード、保健所名の表示を参照し、使用予定の保健所コード及び使用開始年月日を入力できること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J43008		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.20 掌握者(マスタ)	掌握者(マスタ)		0380024	首長名についてマスタで管理できること。 ※1 現在の首長名の表示を参照し、使用予定の首長名及び使用開始年月日を入力できること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-3ファイル仕様」市区町村コードファイル 「2-5業務概要」J44008		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.21 マスタ共通	マスタ共通		0380025	各マスタ情報について、入力値によりファイルの書き換えができること。			○	○	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J41008、J42008、J43008、J44008		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都 道 府 県	指 定 都 市	中 核 市	一 般 市 区 町 村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.22 マスタ共通	マスタ共通		0380026	各マスタ情報を使用する全ての出力、内容審査は全て上記のマスタファイルを使用すること。 人口動態調査の性格から新旧2つの市区町村コード等(支所・出張所コード、保健所コード、首長名)及び使用予定の市区町村コード等を保有し、最初に新しいコード等を使用する時はこのファイル又はレコードの中で新旧及び使用予定のコード等の配列替えを行えること。 この機能は既存のシステムに組み込まれている場合、そちらを利用してもよい。(人口動態調査事務システムで要求する属性及びデータ利用に関する制限が守られている場合に限る)			○	○	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J41008		令和8年4月1日
00 共通	0.2 マスタ管理機能	0.2.23 マスタ共通	マスタ共通		0380027	マスタ管理情報は、使用開始年月日による管理ができること。			○	○	マスタの変更スケジュールを 事前登録し、自動的に切り 替えることを可能とする。		令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳票作成管理機能	0.3.1 終了	終了		0380028	調査票等の作成等を途中で終了できること。 ※1 必要な項目の入力が終了していない場合は終了できない。 ※2 入力項目の内容審査を全て終了していない場合はこの機能を選択できない。			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳票作成管理機能	0.3.2 中断	中断		0380029	調査票等の作成等を中断し、入力値を初期化できること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.3 帳 票作成 管理機 能	0.3.3 キャンセル	キャンセル		0380030	「人口動態項目入力」「全項目入力」「修正入力」において、入力値を初期値に戻すことができること。 ※1「人口動態項目入力」及び「修正入力」においては登録済みデータを表示する。 ※2「全項目入力」では全ての入力項目をゼロ又はスペースで表示する。			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳 票作成 管理機 能	0.3.4 登録	登録		0380031	調査レコード及び市区町村レコードを登録できること。 ※1 必要項目の入力が終了していない場合及び入力項目の内容審査を全て終了していない場合は利用できない。			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳 票作成 管理機 能	0.3.5 頁移動	頁移動		0380032	一覧表示及び1レコードを複数の画面に渡って展開する場合、頁移動ができること。 ※1 表示画面内で必要項目の入力が終了していない場合及び入力項目の単体チェックが完了していない場合は無効となる。 ※2 頁は当該処理内でのみ有効な概念で、処理を超えてこの機能が働くことはない。			○	○	標準仕様書第三版「3-1制御機能一覧」次頁、前項		令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳 票作成 管理機 能	0.3.6 備考欄処理	備考欄処理		0380033	備考欄の入力終了が内容審査の終了も兼ねること。 ※1 備考欄への入力が終了すると、その項目に係る内容審査は終了したものとし、制御は次項目に移動する。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.3 帳 票作成 管理機 能	0.3.7 確認 欄処理	確認欄処理		0380034	入力項目の審査結果により、確認欄に該当する項目番号を自動で記載できること。			○	○			令和8年4月1日
00 共通	0.3 帳 票作成 管理機 能	0.3.8 確認 欄処理	確認欄処理		0380035	確認欄の入力終了が内容審査の終了も兼ねること。 ※1 確認欄への入力が終わると、その項目に係る内容審査は終了したものとし、制御は次項目に移動する。			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.4 一 覧管理 機能	0.4.1 EUC 機能	EUC機能		0380036	EUC機能(「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」に規定するEUC機能をいう。)を利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができること。 EUC機能へ連携するデータ項目は「地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件標準仕様書」の「基本データリスト(人口動態調査事務システム)」の規定に従うこと。(人口動態調査事務システムとEUC機能を一体のパッケージとして構築する場合については、基本データリストに定義されたデータ項目を利用できることを前提に、基本データリスト外のデータ項目の利用も可能とする。)なお、機能別連携仕様にて他業務から取得しているデータ項目については、基本データリストにないデータ項目であっても、データソースの対象とし、データの型、桁数等は連携元である他業務の基本データリストの定義に従う必要がある。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整方針(令和5年6月改定版)による。 当要件は、人口動態調査事務共通として定義しており、各業務に付帯して必要となる要件は、各業務の機能・帳票要件に定義している。	EUC機能活用例 ・低出生体重児名簿 ・人口動態送付内訳 ・人口動態調査票出力対象一覧 ・人口動態調査票取扱集計表	令和8年4月1日
00 共通	0.4 一 覧管理 機能	0.4.2 二次 利用注意 喚起メッ セージ	二次利用注意喚起メッセージ		0380037	機能ID:0380036において統計業務の二次利用となる場合は、注意喚起のメッセージを出力できること。			◎	◎		(参考)「統計データの二次利用の場合は、所定の手続きをしてください。」	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.4 一 覧管理 機能	0.4.3 検索 結果	検索結果		0380038	一覧画面において、表示件数を定めるなど、検索 に時間がかからない仕組みにすること。			○	○			令和8年4月1日
00 共通	0.5 帳 票出力 機能	0.5.1 電子 公印	電子公印		0380039	公印が必要な帳票を出力する場合は、電子公印も しくは”(公印省略)”といった文言を印字できるこ と。 ※1 帳票単位で設定した電子公印を印字するこ と。 なお、電子公印は複数管理でき、必要に応じて切 替えができること。 ※2 職務代理者の公印印字も対応できること。 ※3 公印もしくは”(公印省略)”といった文言の印 字有無をパラメタ等で設定できること。			◎	◎	帳票レイアウトに表記してい る「印」の部分については、 公印もしくは”(公印省略)”と いった文言を印字する場所 を示すものであるため、公印 もしくは”(公印省略)”といっ た文言を印字しない場合 は、「印」の部分は表記しな いこと。		令和8年4月1日
00 共通	0.5 帳 票出力 機能	0.5.2 事件 簿番号	事件簿番号		0380040	事件簿番号を自動で採番できること。			○	○	職員の利便性向上、正確性 向上による。		令和8年4月1日
00 共通	0.5 帳 票出力 機能	0.5.3 一括 出力	一括出力		0380041	出力可能な帳票が複数存在する場合、出力可能 な帳票種類が一覧形式で表示され、一括で出力す る帳票を指定できること。			◎	◎	・職員の利便性向上による。 ・出力可能な調査票が種類 ごとに一覧形式で表示でき ること。		令和8年4月1日
00 共通	0.5 帳 票出力 機能	0.5.4 プリ ンタ選択	プリンタ選 択		0380042	出力先のプリンタの設定ができること。			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.5 帳 票出力 機能	0.5.5 印刷 設定	印刷設定		0380043	印刷時の出力プリンタの変更と用紙(カセット)指定 ができること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
 ◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.6 帳票設定	帳票設定		0380044	帳票の固定文言(教示文全体を含む)を管理できること。 ※1 各帳票のシステム印字項目単位に設定できること。 ※2 ※1に加え、管轄や所属等の印刷場所単位に設定できること。 ※3 印字有無、文言を設定できること。 ※4 文言は、次の管理ができること。 ・複数行(改行付き)を管理できること。 ・先頭文字に全角空白文字を設定できるなどインデントに対応できること。 ・文字の強調(ボールド、アンダーライン、文字サイズ等)は含まない			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.6 ログ管理機能	0.6.1 操作ログ	操作ログ		0380045	取得対象:(a)照会、(b)帳票発行、(c)調査票作成、(d)調査票修正、(e)調査票削除 記録対象:操作者ID、開始日時、終了日時、端末名、機能名			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.6 ログ管理機能	0.6.2 印刷ログ	印刷ログ		0380046	記録対象:印刷者ID、印刷日時、帳票名、操作者ID、印刷プリンタ(又は印刷端末名)、部数、公印出力の有無、発行番号			◎	◎			令和8年4月1日
00 共通	0.6 ログ管理機能	0.6.3 ログの分析	ログの分析		0380047	システムの利用者及び管理者のログについては、分析・ファイル出力が作成できること。			○	○			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.7 操 作権限 設定・ 管理機 能	0.7.1 操作 権限設 定・管理	操作権限設 定・管理		0380048	・システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でID及びパスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限(入力処理や表示・閲覧等の権限)、利用範囲及び期間が管理できること。 ・職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。 ・操作者IDとパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整方針(令和5年6月改定版)による。 認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
00 共通	0.7 操 作権限 設定・ 管理機 能	0.7.2 操作 権限設 定・管理	操作権限設 定・管理		0380049	・アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。 ・アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。 ・アクセス権限の付与も含めたユーザー情報の登録・変更・削除はスケジューラーに設定する等、事前に準備ができること。 ・また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整方針(令和5年6月改定版)による。 認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
00 共通	0.7 操 作権限 設定・ 管理機 能	0.7.3 操作 権限設 定・管理	操作権限設 定・管理		0380050	・他の職員が調査票の作成を行っている間は、同一の調査票情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。 ・なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。 ・IDパスワードによる認証に加え、ICカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。 ・複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。 ※1 認証の失敗回数は自治体の運用に合わせて任意で設定する。			◎	◎	標準仕様書間の横並び調整方針(令和5年6月改定版)による。 認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
00 共通	0.7 操 作権限 設定・ 管理機 能	0.7.4 操作 権限設定	操作権限設 定		0380051	組織・職務・職位等での操作権限を設定できるこ と。 操作権限一覧表で操作権限が設定できること。 シングルサインオンが使用できること。			○	○	標準仕様書間の横並び調整 方針(令和5年6月改定版) による。		令和8年4月1日
00 共通	0.8 データ 保存	0.8.1 データの蓄積	データの蓄積		0380052	過去のレコードを蓄積・保存できること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01調査票													
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.1 新規 作成	新規作成		0380053	調査票の新規作成ができること。 ※1 戸籍情報システムからレコードを画面の各届 書の様式上に表示できること。(死産票を除く) ※2 何も入力されていない各調査票の様式を画面 に表示できること。(レコードが消失した場合)			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J31000		令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.2 作成	作成		0380054	機能ID:0380053において戸籍の処分決定又は決 裁後に一連の流れで調査票を作成できること。			○	○			令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.3 入力	入力		0380055	人口動態調査出生票に、「子の氏名」「生まれたとき 」「子の住所」等を入力できること。 ※1 下記のマスタ管理項目も任意入力可 (病院情報(病院名)、病院情報(医師名))			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.4 入力	入力		0380056	人口動態調査死亡票に、「氏名」「死亡したとき」 「死亡した人の住所」等を入力できること。 ※1 下記のマスタ管理項目も任意入力可 (病名、病院情報(病院名)、病院情報(医師名))			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.5 入力	入力		0380057	人口動態調査死産票に、「父母の氏名」「死産があ ったとき」「死産があったときの母の住所」等を入 力できること。 ※1 下記のマスタ管理項目も任意入力可 (病名、病院情報(病院名)、病院情報(医師名))			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.6 入力	入力		0380058	人口動態調査婚姻票に、「夫の氏名」「妻の氏名」「夫の住所」等を入力できること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.7 入力	入力		0380059	人口動態調査離婚票に、「夫の氏名」「妻の氏名」「別居する前の住所」等を入力できること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.8 修正	修正		0380060	作成済みの調査票の内容を修正できること。 ※1 調査票一覧から修正したい調査票押下又は調査票を選択した状態で編集ボタン押下で、入力画面に遷移			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.9 入力値チェック	入力値チェック		0380061	機能ID:0380055～0380059での入力値について各調査票ごとの単体チェックを行うこと。			◎	◎	標準仕様書第三版「2-5業務概要」3-1-2、3-2-2		令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.10 単体チェック共通機能(必須項目)	必須項目		0380062	必須入力項目が入力されていることを確認できること。 ※1 必須入力項目が入力されていない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」共「4-2画面メッセージ」M90039	(参考)「この項目は入力が必要です。必ず入力してください。」(M90039)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.11 単体チェック共通機能(属性)	属性		0380063	正しい属性が入力されていることを確認できること。 ※1 属性が正しく入力されていない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」共「4-2画面メッセージ」M90049	(参考)「属性が間違っています。」(M90049)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.12 単 体チェック 共通機能 (事件簿 番号)	事件簿番号		0380064	「事件簿番号」の入力値が、0001～9999であることを確認できること。 ※1 重複する事件簿番号が存在する場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30041 「4-2画面メッセージ」M90059	(参考)「この事件簿番号はすでに入力済みです。入力ミス、二重入力または事件簿番号の付与エラーと思われます。確認してください。」(M90059)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.13 単 体チェック 共通機能 (受付年 月日)	受付年月日		0380065	「受付年月日」の入力値が、受付年月日≤入力年月日であることを確認できること。 ※1 受付年月日≤入力年月日でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30051 「4-2画面メッセージ」M90069	(参考)「本日より後の日付で届出を受けることはありません。修正してください。」(M90069)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.14 出 生票単体 チェック機 能(子、 父、母の 氏名)	子の氏名、 父の氏名、 母の氏名		0380066	「子の氏名」、「父の氏名」、「母の氏名」の入力値が、JIS第1.2水準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1.2水準以内の文字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30061、 K30141、K30161 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれていません。ヨミガナを入力するか、処理を続行して下さい。」(M90079)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.15 出 生票単体 チェック機 能(続き柄 及び性別)	続き柄及び 性別		0380067	「続き柄」の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 嫡出子 ・2 非嫡出子 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30071 「4-1コードテーブル」D20019 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.16 出 生票単体 チェック機 能(続き柄 及び性別)	続き柄及び 性別		0380068	「性別」の入力値が以下の範囲であることを確認で きること。 ・1 男 ・2 女 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30081 「4-1コードテーブル」D20029 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.17 出 生票単体 チェック機 能(出生 日時)	出生日時		0380069	「出生日時」の年号の入力値が以下の範囲である ことを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。 ※2 出生年月日が大正以前である場合、メッセー ジを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」 M90019、M00011	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019) (参考)「出生年月日が大正 以前です。修正するか、誤り でなければ備考欄に項目番 号を記載してください。」 (M00011)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.18 出 生票単体 チェック機 能(出生 日時)	出生日時		0380070	「出生日時」の年月日の入力値が入力可能な数字 であることを確認できること。 ※1 年月日が入力可能な数字でない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入 力されました。再入力してく ださい。」(M90029)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.19 出 生票単 体チェ ック機 能(出生 日時)	出生日時		0380071	「出生日時」の時間の入力値がスペースでなく、以 下の範囲であることを確認できること。 ・0～11 ※1 範囲外の時間である場合、メッセージを表示 すること。 ※2 出生時間が入力されていない場合、メッセージ を表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-2画面メッセージ」 M90029、M00021	(参考)「範囲外の数字が入 力されました。再入力してく ださい。」(M90029) (参考)「出生時間が入力して ありません。入力するか、誤 りでなければ確認欄に項目 番号を記載してください。」 (M00021)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.20 出 生票単 体チェ ック機 能(出生 日時)	出生日時		0380072	「出生日時」の午前/午後の入力値が以下の範囲 であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30091 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.21 出 生票単 体チェ ック機 能(生まれ たところ)	生まれたと ころ		0380073	「生まれたところ」の入力値がマスタデータの範囲 であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30101 「4-1コードテーブル」D20059 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.22 出 生票単 体チェ ック機 能(子の 住所(日 本・外国 の区分))	子の住所 (日本・外国 の区分)		0380074	「子の住所(日本・外国の区分)」の入力値がマスタ データの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30121 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.23 出生票単体チェック機能(父、母の生年月日)	父の生年月日、母の生年月日		0380075	「父の生年月日」、「母の生年月日」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。 ※2 大正以降でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30151 「4-1コードテーブル」D20011 「4-2画面メッセージ」M90019、M00031	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019) (参考)「父の生年月日が明治以前です。修正するか、誤りでなければ備考欄にその旨記載してください。」(M00031)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.24 出生票単体チェック機能(母の生年月日)	母の生年月日		0380076	「母の生年月日」の入力値より計算した母の年齢が50歳未満であることを確認できること。 ※1 50歳以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30171 「4-2画面メッセージ」M00019	(参考)「母の年齢が50歳以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.25 出生票単体チェック機能(父、母の国籍)	父の国籍、母の国籍		0380077	「父の国籍」、「母の国籍」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30191、K30211 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.26 出生票単体チェック機能(同居を始めたとき)	同居を始めたとき		0380078	「同居を始めたとき」の入力値がスペースでないことを確認できること。 ※1 「元号」「年」「月」のいずれか1つでもスペースである場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30221 「4-2画面メッセージ」M00109	(参考)「「元号」「年」「月」すべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00109)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.27 出 生票単体 チェック機 能(同居を 始めたとき)	同居を始め たとき		0380079	「同居を始めたとき」の年号の入力値が以下の範 囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30221 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.28 出 生票単体 チェック機 能(子が 生まれた ときの世 帯の主な 仕事)	子が生まれ たときの世 帯の主な仕 事		0380080	「子が生まれたときの世帯の主な仕事」の入力値 がマスターデータの範囲であることを確認できるこ と。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30231 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.29 出 生票単体 チェック機 能(他の 子の事件 簿番号・ 種別)	他の子の事 件簿番号・ 種別		0380081	「他の子の事件簿番号・種別」の入力値が以下の 範囲であることを確認できること。 ・1 出生票 ・2 死産票 ※1 選択可能な数字でない場合、とメッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30261 「4-1コードテーブル」D20169 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.30 出 生票単体 チェック機 能(他の 子の事件 簿番号・ 番号)	他の子の事 件簿番号・ 番号		0380082	「他の子の事件簿番号・番号」の入力値が0001～ 9999であることを確認できること。 ※1 0001～9999以外の数字の場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30271 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入 力されました。再入力してく ださい。」(M90029)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.31 出 生票単体 チェック機 能(出生 場所種 別)	出生場所種 別		0380083	「出生場所種別」の入力値が以下の範囲であるこ とを確認できること。 ・1 病院 ・2 診療所 ・3 助産所 ・4 自宅 ・5 その他 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30281 「4-1コードテーブル」D20099 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.32 出 生票単体 チェック機 能(子の 体重)	子の体重		0380084	「子の体重」の入力値が500g≦体重<6000gである ことを確認できること。 ※1 子の体重が500g未満及び6000g以上の場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30301 「4-2画面メッセージ」M00059	(参考)「体重が0.5kg～6kgの 範囲にありません。修正す るか、誤りでなければ確認 欄に項目番号を記載してく ださい。」(M00059)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.33 出 生票単体 チェック機 能(体重、 身長不 詳)	体重不詳、 身長不詳		0380085	「体重不詳」、「身長不詳」の入力値が以下の値ま たはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字またはスペースでない場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30311、 K30331 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.34 出 生票単体 チェック機 能(子の 身長)	子の身長		0380086	「子の身長」の入力値が27cm≦身長<58cmであ ることを確認できること。 ※1 27cm≦身長<58cmでない場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30321 「4-2画面メッセージ」M00301	(参考)「身長が27cm～57cm の範囲にありません。修正 するか、誤りでなければ確 認欄に項目番号を記載して ください。」(M00301)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.35 出 生票単体 チェック機 能(単胎・ 多胎の 別)	単胎・多胎 の別		0380087	「単胎・多胎の別」の入力値が以下の範囲であるこ とを確認できること。 ・1 単胎 ・2 多胎 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30341 「4-1コードテーブル」D20179 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.36 出 生票単体 チェック機 能(妊娠 期間・週 数)	妊娠期間・ 週数		0380088	「妊娠期間・週数」の入力値がスペースでないこと を確認できること。 ※1 妊娠週数がスペースの場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30371 「4-2画面メッセージ」M00049	(参考)「妊娠週数は入力が 必要です。入力するか、誤り でなければ確認欄に項目番 号を記載してください。」 (M00049)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.37 出 生票単体 チェック機 能(妊娠 期間・週 数)	妊娠期間・ 週数		0380089	「妊娠期間・週数」の入力値が21<妊娠週数<44 であることを確認できること。 ※1 21<妊娠週数<44の範囲にない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30371 「4-2画面メッセージ」M00039	(参考)「妊娠週数が22~43 週の範囲にありません。修 正するか、誤りでなければ確 認欄に項目番号を記載し てください。」(M00039)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.38 出 生票単体 チェック機 能(妊娠 期間・日 数)	妊娠期間・ 日数		0380090	「妊娠期間・日数」の入力値が0≤妊娠日数<7で あることを確認できること。 ※1 妊娠日数が0≤妊娠日数<7の範囲にない場 合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30381 「4-2画面メッセージ」M00209	(参考)「妊娠週数が0~6日 の範囲にありません。修正 するか、誤りでなければ確 認欄に項目番号を記載し てください。」(M00209)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.39 出 生票単体 チェック機 能(立会 者)	立会者		0380091	「立会者」の入力値が以下の範囲であることを確認 できること。 ・1 医師 ・2 助産師 ・3 その他 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30411 「4-1コードテーブル」D20119 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.40 死 亡票単体 チェック機 能(氏名)	氏名		0380092	「氏名」の入力値がJIS第1.2水準以内の文字であ ることを確認できること。 ※1 JIS第1.2水準以外の文字の場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30062 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれていま す。ヨミガナを入力するか、 処理を続行して下さい。」 (M90079)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.41 死 亡票単体 チェック機 能(性別)	性別		0380093	「性別」の入力値が以下の範囲であることを確認で きること。 ・1 男 ・2 女 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30072 「4-1コードテーブル」D20029 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.42 死 亡票単体 チェック機 能(生年 月日)	生年月日		0380094	「生年月日」の年号の入力値が以下の範囲である ことを確認できること。 ・1 明治 ・2 大正 ・3 昭和 ・4 平成 ・5 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-1コードテーブル」D20012 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.43 死 亡票単体 チェック機 能(生年 月日)	生年月日		0380095	「生年月日」の入力値が、死亡者が生後30日以内 のときは、午前・午後、時間はスペースでなく選択 可能な数字が入力されていることを確認できるこ と。また、午前/午後の入力値は以下の範囲である こと。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 死亡者が生後30日以内にも関わらず、午前・ 午後、時間が入力されていない場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」 M90019、M90029	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019) (参考)「範囲外の数字が入 力されました。再入力してく ださい。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.44 死 亡票単体 チェック機 能(生年 月日)	生年月日		0380096	「生年月日」の入力値が、「月」以降がスペースな のは「推定」の場合のみであることを確認できるこ と。 ※1「推定」でないにも関わらず生年月日「月」以降 がスペースである場合、メッセージを表示するこ と。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-2画面メッセージ」M00012	(参考)「月」以降がスペース です。修正するか、「推定」 の場合は、備考欄にその旨 記載してください。」(M00012)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.45 死 亡票単体 チェック機 能(生年 月日)	生年月日		0380097	「生年月日」の入力値から計算した死亡者の年齢 が100歳未満であることを確認できること。 ※1 死亡者の年齢が100歳以上である場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30082 「4-2画面メッセージ」M00022	(参考)「死亡者の年齢が100 歳以上です。修正するか、 誤りでなければ確認欄に項 目番号を記載してください。」 (M00022)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.46 死 亡票単体 チェック機 能(生年 月日不 詳)	生年月日不 詳		0380098	「生年月日不詳」の入力値が以下の範囲またはス ペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30092 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.47 死 亡票単体 チェック機 能(死亡し たとき)	死亡したと き		0380099	「死亡したとき」の年号の入力値が以下の範囲である ことを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.48 死 亡票単体 チェック機 能(死亡し たとき)	死亡したと き		0380100	「死亡したとき」の午前/午後の入力値が以下の範囲 であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.49 死 亡票単体 チェック機 能(死亡し たとき)	死亡したと き		0380101	「死亡したとき」の日付、時間の入力値が入力範囲 内であることを確認できること。 ※1 範囲外の時間である場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入 力されました。再入力してく ださい。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.50 死 亡票単体 チェック機 能(死亡し たとき)	死亡したと き		0380102	「死亡したとき」の入力値が「月」以降がスペースな のは「推定」の場合のみであることを確認できるこ と。 ※1 「推定」でないにも関わらず死亡したときの 「月」以降がスペースである場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30102 「4-2画面メッセージ」M00012	(参考)「「月」以降がスペース です。修正するか、「推定」 の場合は、備考欄にその旨 記載してください。」(M00012)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.51 死 亡票単体 チェック機 能(死亡し たとき不 詳)	死亡したと き不詳		0380103	「死亡したとき不詳」の入力値が以下の範囲である ことを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30112 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.52 死 亡票単体 チェック機 能(死亡し たところ)	死亡したと ころ		0380104	「死亡したところ」の入力値がマスタデータの範囲 であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30122 「4-1コードテーブル」D20059 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.53 死 亡票単体 チェック機 能(死亡し た人の住 所(日本・ 外国の区 分))	死亡した人 の住所(日 本・外国の 区分)		0380105	「死亡した人の住所(日本・外国の区分)」の入力 値がマスタデータの範囲であることを確認できるこ と。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30132 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.54 死 亡票単体 チェック機 能(国籍)	国籍		0380106	「国籍」の入力値がマスタデータの範囲であることを 確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30172 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.55 死 亡票単体 チェック機 能(死亡し た人の配 偶者)	死亡した人 の配偶者		0380107	「死亡した人の配偶者」の入力値が以下の範囲で あることを確認できること。 ・1 いる ・2 未婚 ・3 死別 ・4 離別 ・5 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30182 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.56 死 亡票単体 チェック機 能(死亡し たときの 世帯の主 な仕事)	死亡したと きの世帯の 主な仕事		0380108	「死亡したときの世帯の主な仕事」の入力値がマス タデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30202 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.57 死 亡票単体 チェック機 能(死亡 の場所の 種別)	死亡の場所 の種別		0380109	「死亡の場所の種別」の入力値がマスターデータの 範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30232 「4-1コードテーブル」D20042 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.58 死 亡票単体 チェック機 能(手術、 解剖の有 無)	手術の有 無、解剖の 有無		0380110	「手術の有無」、「解剖の有無」の入力値が以下の 範囲であることを確認できること。 ・1 無 ・2 有 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30352、 K30382 「4-1コードテーブル」D20139 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.59 死 亡票単体 チェック機 能(手術 の年月 日)	手術の年月 日		0380111	「手術の年月日」の年号の入力値が以下の範囲で あることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30372 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.60 死 亡票単体 チェック機 能(手術 の年月 日)	手術の年月 日		0380112	「手術の年月日」の日付の入力値が入力可能数値 の範囲内であることを確認できること。 ※1「手術の年月日」の入力がない場合、メッセー ジを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30372 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.61 死 亡票単体 チェック機 能(手術 の年月 日)	手術の年月 日		0380113	手術の有無が「有」の場合、「手術の年月日」が入 力されていることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎		(参考)「手術の有無が「有」 ですが、手術年月日が空欄 です。入力内容を確認してく ださい。」(新規)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.62 死 亡票単体 チェック機 能(死因 の種類)	死因の種類		0380114	「死因の種類」の入力値がマスタデータの範囲であ ることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30402 「4-1コードテーブル」D20032 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.63 死 亡票単体 チェック機 能(傷害 発生年月 日時分)	傷害発生年 月日時分		0380115	「傷害発生年月日時分」の年号の入力値が以下の 範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30412 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.64 死 亡票単体 チェック機 能(傷害 発生年月 日時分)	傷害発生年 月日時分		0380116	「傷害発生年月日時分」の午前/午後の入力値が 以下の範囲であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30412 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.65 死 亡票単体 チェック機 能(傷害 発生年月 日時分)	傷害発生年 月日時分		0380117	「傷害発生年月日時分」の日付及び時間の入力値 が入力可能数値の範囲内であることを確認でき ること。 ※1 範囲外の数字が入力された場合、メッセージ を表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30412 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入 力されました。再入力して ください。」(M90029)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.66 死 亡票単体 チェック機 能(傷害 が発生し た場所種 別)	傷害が発生 した場所種 別		0380118	「傷害が発生した場所種別」の入力値が以下の範 囲であることを確認できること。 ・1 住居 ・2 工場・建築現場 ・3 道路 ・4 その他 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30432 「4-1コードテーブル」D20052 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.67 死 亡票単体 チェック機 能(出生 時体重)	出生時体重		0380119	「出生時体重」の入力値が500g≦体重<6000gで あることを確認できること。 ※1 500g≦体重<6000gでない場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30462 「4-2画面メッセージ」M90059	(参考)「体重が0.5kg～6kgの 範囲にありません。修正す るか、誤りでなければ確認 欄に項目番号を記載してく ださい。」(M00059)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.68 死 亡票単体 チェック機 能(出生 時体重不 詳)	出生時体重 不詳		0380120	「出生時体重不詳」の入力値が以下の値またはス ペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30472 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.69 死 亡票単体 チェック機 能(単胎・ 多胎の 別)	単胎・多胎 の別		0380121	「単胎・多胎の別」の入力値が以下の範囲であるこ とを確認できること。 ・1 単胎 ・2 多胎 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30482 「4-1コードテーブル」D20179 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.70 死 亡票単体 チェック機 能(妊娠 週数)	妊娠週数		0380122	「妊娠週数」の入力値が21<妊娠週数<44である ことを確認できること。 ※1 妊娠週数が21<妊娠週数<44でない場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30512 「4-2画面メッセージ」M00039	(参考)「妊娠週数が22～43 週の範囲にありません。修 正するか、誤りでなければ 確認欄に項目番号を記載し てください。」(M00039)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.71 死 亡票単体 チェック機 能(妊娠 週数)	妊娠週数		0380123	「妊娠週数」の入力値がスペースでないことを確認 できること。 ※1 妊娠週数がスペースの場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30512 「4-2画面メッセージ」M00049	(参考)「妊娠週数は入力 が必要です。入力するか、誤り でなければ確認欄に項目番 号を記載してください。」 (M00049)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.72 死 亡票単体 チェック機 能(妊娠 週数・不 詳)	妊娠週数・ 不詳		0380124	「妊娠週数・不詳」の入力値が以下の値またはス ペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30522 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.73 死 亡票単体 チェック機 能(母体 の病態・ 異状の有 無)	母体の病 態・異状の 有無		0380125	「母体の病態・異状の有無」の入力値が以下の範 囲であることを確認できること。 ・1 無 ・2 有 ・3 不詳 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30532 「4-1コードテーブル」D20062 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.74 死 亡票単体 チェック機 能(母の 生年月 日)	母の生年月 日		0380126	「母の生年月日」の年号の入力値が以下の範囲で あることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30552 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.75 死 亡票単体 チェック機 能(母の 生年月 日)	母の生年月 日		0380127	「母の生年月日」の日付の入力値が入力可能数値 の範囲内であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30552 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.76 死 亡票単体 チェック機 能(母の 生年月 日)	母の生年月 日		0380128	「母の生年月日」から計算した母の年齢が15歳以 上50歳未満であることを確認できること。 ※1 母の年齢が15歳未満又は50歳以上の場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30552 「4-2画面メッセージ」M00342	(参考)「母の年齢が15歳未 満または50歳以上です。修 正するか、誤りでなければ 確認欄に項目番号を記載し てください。」(M00342)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.77 死 亡票単体 チェック機 能(医師 名)	医師名		0380129	「医師名」の入力値がJIS第1,2水準以内の文字で あることを確認できること。 ※1 JIS第1,2水準以外の文字の場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30602 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれていま す。ヨミガナを入力するか、 処理を続行してください。」 (M90079)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.78 死 産票単体 チェック機 能	父の国籍、 母の国籍		0380130	「父の国籍」、「母の国籍」の入力値がマスターデータ の範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30073、 K30093 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.79 死 産票単体 チェック機 能(父、母 の氏名)	父の氏名、 母の氏名		0380131	「父の氏名」、「母の氏名」の入力値がJIS第1.2水 準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1.2水準以外の文字である場合、メッセー ジを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30103、 K30133 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれていま す。ヨミガナを入力するか、 処理を続行してください。」 (M90079)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.80 死 産票単体 チェック機 能(父、母 の生年月 日)	父の生年月 日、母の生 年月日		0380132	「父の生年月日」、「母の生年月日」の入力値が「元 号」「年」「月」「日」いずれもスペースでないことを確 認できること。 ※1 「元号」「年」「月」「日」いずれか1つでもスペー スの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30113、 K30143 「4-2画面メッセージ」M00013	(参考)「「元号」「年」「月」 「日」のすべての入力が必要 です。入力するか、誤りでな ければ確認欄に項目番号を 記載してください。」(M00013)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.81 死 産票単体 チェック機 能(母の 年齢)	母の年齢		0380133	「母の年齢」の入力値が50歳未満であることを確認 できること。 ※1 50歳以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30153 「4-2画面メッセージ」M00019	(参考)「母の年齢が50歳以 上です。修正するか、誤りで なければ確認欄に項目番号 を記載してください。」 (M00019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.82 死 産票単体 チェック機 能(死産 児の男女 別)	死産児の男 女別		0380134	「死産児の男女別」の入力値が以下の範囲である ことを確認できること。 ・1 男 ・2 女 ・3 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30163 「4-1コードテーブル」D20013 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.83 死 産票単体 チェック機 能(死産 児の続き 柄)	死産児の続 き柄		0380135	「死産児の続き柄」の入力値が以下の範囲である ことを確認できること。 ・1 嫡出子 ・2 非嫡出子 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30173 「4-1コードテーブル」D20019 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.84 死 産票単体 チェック機 能(死産 があった とき)	死産があっ たとき		0380136	「死産があったとき」の元号の入力値が以下の範 囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.85 死 産票単 体チェ ック機 能(死産 があった とき)	死産があ ったとき		0380137	「死産があったとき」の午前/午後の入力値が以下 の範囲であることを確認できること。 ・1 午前 ・2 午後 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-1コードテーブル」D20049 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.86 死 産票単 体チェ ック機 能(死産 があった とき)	死産があ ったとき		0380138	「死産があったとき」の入力値が、「元号」「年」「月」 「日」のいずれもスペースでないことを確認できるこ と。 ※1 「元号」「年」「月」「日」のいずれか1つでもス ペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-2画面メッセージ」M00013	(参考)「「元号」「年」「月」 「日」のすべての入力が必要 です。入力するか、誤りでな ければ確認欄に項目番号を 記載してください。」(M00013)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.87 死 産票単 体チェ ック機 能(死産 があった とき)	死産があ ったとき		0380139	「死産があったとき」の日付及び時間の入力値が 入力可能数値の範囲内であることを確認できるこ と。 ※1 範囲外の時間である場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30183 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入 力されました。再入力してく ださい。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.88 死 産票単 体チェ ック機 能(死産 があった ところ(日 本・外国 の区分))	死産があ ったところ(日 本・外国の 区分)		0380140	「死産があったところ(日本・外国の区分)」の入力 値がマスタデータの範囲であることを確認できるこ と。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30203 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.89 死 産票単体 チェック機 能(死産 時の世帯 の主な仕 事)	死産時の世 帯の主な仕 事		0380141	「死産時の世帯の主な仕事」の入力値がマスタ データの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30233 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.90 死 産票単体 チェック機 能(22週 以後の死 産児数、 21週以前 の死産児 数)	22週以後の 死産児数、 21週以前の 死産児数		0380142	「22週以後の死産児数」、「21週以前の死産児数」 の入力値が必ず一方の欄には記載があることを確 認できること。 ※1 どちらにも記載がない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30273、 K30283 「4-2画面メッセージ」M00023	(参考)「この欄はこの死産児 も含むので、必ずどちらかの 欄に記載が必要です。修正 してください。」(M00023)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.91 死 産票単体 チェック機 能(妊娠 期間・週 数)	妊娠期間・ 週数		0380143	「妊娠期間・週数」の入力値が11<妊娠週数<44 であることを確認できること。 ※1 妊娠週数が11週以前又は、44週以上の場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30293 「4-2画面メッセージ」 M00033、M00043	11週以前の場合(参考)「妊 娠週数が11週以前の死産 はありません。修正してく ださい。」(M00033) 44週以上の場合(参考)「妊 娠週数が44週以上になって います。修正するか、誤りで なければ確認欄に項目番号 を記載してください。」 (M00043)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.92 死 産票単体 チェック機 能(妊娠 期間・日 数)	妊娠期間・ 日数		0380144	「妊娠期間・日数」の入力値が0≦妊娠日数<7で あることを確認できること。 ※1 妊娠日数が0≦妊娠日数<7の範囲外の場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30303 「4-2画面メッセージ」M00209	(参考)「妊娠日数が0～6日 の範囲にありません。修正 するか、誤りでなければ確 認欄に項目番号を記載して ください。」(M00209)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.93 死 産票単 体チェ ック機 能(死産 児の体 重)	死産児の体 重		0380145	「死産児の体重」の入力値が体重<4500gであるこ とを確認できること。 ※1 体重が4500g以上の場合、メッセージを表示す ること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30313 「4-2画面メッセージ」M00053	(参考)「体重が4500g以上で す。修正するか、誤りでなけ れば確認欄に項目番号を記 載してください。」(M00053)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.94 死 産票単 体チェ ック機 能(死産 児の身 長)	死産児の身 長		0380146	「死産児の身長」の入力値が身長<58cmであるこ とを確認できること。 ※1 身長が58cm以上の場合、メッセージを表示す ること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30333 「4-2画面メッセージ」M00303	(参考)「身長が58cm以上で す。修正するか、誤りでなけ れば確認欄に項目番号を記 載してください。」(M00303)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.95 死 産票単 体チェ ック機 能(体重 、身長 不詳)	体重不詳、 身長不詳		0380147	「体重不詳」、「身長不詳」の入力値が以下の値ま たはスペースであることを確認できること。 ・1 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30323、 K30343 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.96 死 産票単 体チェ ック機 能(胎児 死亡の時 期)	胎児死亡の時 期		0380148	「胎児死亡の時期」の入力値が以下の範囲である ことを確認できること。 ・1 分娩前 ・2 分娩中 ・3 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30353 「4-1コードテーブル」D20023 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.97 死 産票単体 チェック機 能(胎児 死亡の時 期)	胎児死亡の 時期		0380149	妊娠期間(週数)が22週未満の場合、「胎児の死亡 時期」の入力がないことを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎		(参考)「妊娠週数が22週未 満ですが、胎児の死亡時期 が入力されています。入力 内容を確認してください。」 (新規)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.98 死 産票単体 チェック機 能(死産 があった ところの種 別)	死産があっ たところの 種別		0380150	「死産があったところの種別」の入力値がマスタ データの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30363 「4-1コードテーブル」D20099 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.99 死 産票単体 チェック機 能(単胎・ 多胎の 別)	単胎・多胎 の別		0380151	「単胎・多胎の別」の入力値が以下の範囲であるこ とを確認できること。 ・1 単胎 ・2 多胎 ・3 不詳 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30383 「4-1コードテーブル」D20073 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.100 死 産票単体 チェック機 能(他の 子の事件 簿番号・ 種別)	他の子の事 件簿番号・ 種別		0380152	「他の子の事件簿番号・種別」の入力値が以下の 範囲であることを確認できること。 ・1 出生票 ・2 死産票 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30413 「4-1コードテーブル」D20169 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.101 死 産票単 体チェ ック機 能(他 子の事 件簿番 号・番 号)	他の子の事 件簿番号・ 番号		0380153	「他の子の事件簿番号・番号」の入力値が0001～ 9999であることを確認できること。 ※1 0001～9999以外の数字の場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30423 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入 力されました。再入力してく ださい。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.102 死 産票単 体チェ ック機 能(死産 の自然・ 人工別)	死産の自然・人工別		0380154	「死産の自然・人工別」の入力値が以下の範囲で あることを確認できること。 ・1 自然 ・2 法による ・3 法によらない ・4 不明 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30433 「4-1コードテーブル」D20033 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.103 死 産票単 体チェ ック機 能(死産 の自然・ 人工別 の理由)	死産の自然・人工別 の理由		0380155	「死産の自然・人工別の理由」の入力値が以下の 範囲であることを確認できること。 ・1 胎児側のみ ・2 母側のみ ・3 双方 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30443 「4-1コードテーブル」D20043 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.104 死 産票単体 チェック機 能(人工 死産の理 由)	人工死産の 理由		0380156	「人工死産の理由」の入力値が以下の範囲である ことを確認できること。 ・1 母体側 ・2 その他 ・3 双方 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30553 「4-1コードテーブル」D20053 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.105 死 産票単体 チェック機 能(胎児 手術、胎 児解剖の 有無)	胎児手術の 有無、 胎児解剖の 有無		0380157	「胎児手術の有無」、「胎児解剖の有無」の入力値 が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 無 ・2 有 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30573、 K30593 「4-1コードテーブル」D20139 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.106 死 産票単体 チェック機 能(死産 に立ち 会った者)	死産に立ち 会った者		0380158	「死産に立ち会った者」の入力値が以下の範囲で あることを確認できること。 ・1 医師 ・2 助産師 ・3 その他 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30613 「4-1コードテーブル」D20119 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.107 婚 姻票単体 チェック機 能(市区 町村受付 月)	市区町村受 付月		0380159	「市区町村受付月」の入力値が1～12であることを 確認できること。 ※1 1～12以外の数字の場合、メッセージを表示す ること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30064 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入 力されました。再入力してく ださい。」(M90029)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.108 婚 姻票単体 チェック機 能(夫、妻 の氏名)	夫の氏名、 妻の氏名		0380160	「夫の氏名」、「妻の氏名」の入力値がJIS第1,2水 準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1,2水準以外の文字の場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30074、 K30094 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれていま す。ヨミガナを入力するか、 処理を続行してください。」 (M90079)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.109 婚 姻票単体 チェック機 能(夫、妻 の生年月)	夫の生年月、妻の生 年月		0380161	「夫の生年月」、「妻の生年月」の年号の入力値が 以下の範囲であることを確認できること。 ・1 明治 ・2 大正 ・3 昭和 ・4 平成 ・5 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30084、 K30104 「4-1コードテーブル」D20149 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.110 婚 姻票単体 チェック機 能(夫、妻 の国籍)	夫の国籍、 妻の国籍		0380162	「夫の国籍」、「妻の国籍」の入力値がマスタデー タの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30124、 K30144 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.111 婚 姻票単体 チェック機 能(夫の 住所(日 本・外国 の区分))	夫の住所 (日本・外国 の区分)		0380163	「夫の住所(日本・外国の区分)」の入力値がマスタ データの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30164 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.112 婚 姻票単体 チェック機 能(婚姻 後の夫婦 の氏)	婚姻後の夫 婦の氏		0380164	「婚姻後の夫婦の氏」の入力値が以下の範囲であ ることを確認できること。 ・1 夫の氏 ・2 妻の氏 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30174 「4-1コードテーブル」D20014 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.113 婚 姻票単体 チェック機 能(同居を 始めたとき)	同居を始め たとき		0380165	「同居を始めたとき」の年号の入力値が以下の範 囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30184 「4-1コードテーブル」D20159 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.114 婚 姻票単体 チェック機 能(同居を 始めたとき)	同居を始め たとき		0380166	「同居を始めたとき」の入力値が、「元号」「年」「月」 いずれもスペースでないことを確認できること。 ※1 「元号」「年」「月」いずれか1つでもスペースの 場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30184 「4-2画面メッセージ」M90109	(参考)「「元号」「年」「月」す べての入力が必要です。入 力するか、誤りでなければ 確認欄に項目番号を記載し てください。」(M90109)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.115 婚 姻票単体 チェック機 能(夫、妻 の初婚・ 再婚の別)	夫の初婚・ 再婚の別、 妻の初婚・ 再婚の別		0380167	「夫の初婚・再婚の別」、「妻の初婚・再婚の別」の 入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 初婚 ・2 死別後再婚 ・3 離別後再婚 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30194、 K30214 「4-1コードテーブル」D20024 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.116 婚 姻票単体 チェック機 能(夫、妻 の初婚・ 再婚の別)	夫の初婚・ 再婚の別、 妻の初婚・ 再婚の別		0380168	夫の年齢が70歳以上の場合、初婚でないことを確 認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎		(参考)「夫の年齢が70歳以上 ですが、初婚です。入力 内容を確認してください。」 (新規)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.117 婚 姻票単体 チェック機 能(夫、妻 の初婚・ 再婚の別)	夫の初婚・ 再婚の別、 妻の初婚・ 再婚の別		0380169	妻の年齢が70歳以上の場合、初婚でないことを確 認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎		(参考)「妻の年齢が70歳以上 ですが、初婚です。入力 内容を確認してください。」 (新規)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.118 婚 姻票単体 チェック機 能(夫、妻 の死・離 別年月)	夫の死・離 別年月、妻 の死・離別 年月		0380170	「夫の死・離別年月」、「妻の死・離別年月」の年号 の入力値が以下の範囲であることを確認できるこ と。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30204、 K30224 「4-1コードテーブル」D20159 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.119 婚 姻票単体 チェック機 能(同居 前の夫、 妻それぞ れの世帯 の主な仕 事)	同居前の夫 の世帯の主 な仕事、同 居前の妻の 世帯の主な 仕事		0380171	「同居前の夫の世帯の主な仕事」、「同居前の妻の 世帯の主な仕事」の入力値がマスターデータの範囲 であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30234、 K30244 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.120 離 婚票単体 チェック機 能(市区 町村受付 月)	市区町村受 付月		0380172	「市区町村受付月」の入力値が1～12であることを 確認できること。 ※1 1～12以外の数字の場合、メッセージを表示す ること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30065 「4-2画面メッセージ」M90029	(参考)「範囲外の数字が入 力されました。再入力してく ださい。」(M90029)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.121 離 婚票単体 チェック機 能(夫、妻 の氏名)	夫の氏名、 妻の氏名		0380173	「夫の氏名」、「妻の氏名」の入力値がJIS第1.2水 準以内の文字であることを確認できること。 ※1 JIS第1.2水準以外の文字の場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30075、 K30095 「4-2画面メッセージ」M90079	(参考)「外字が含まれていま す。ヨミガナを入力するか、 処理を続行してください。」 (M90079)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.122 離 婚票単体 チェック機 能(夫、妻 の生年 月)	夫の生年 月、妻の生 年月		0380174	「夫の生年月」、「妻の生年月」の年号の入力値が 以下の範囲であることを確認できること。 ・1 明治 ・2 大正 ・3 昭和 ・4 平成 ・5 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30085、 K30105 「4-1コードテーブル」D20149 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.123 離 婚票単体 チェック機 能(夫、妻 の国籍)	夫の国籍、 妻の国籍		0380175	「夫の国籍」、「妻の国籍」の入力値がマスターデー タの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30125、 K30145 「4-1コードテーブル」D20079 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.124 離 婚票単体 チェック機 能(離婚 の種別)	離婚の種別		0380176	「離婚の種別」の入力値が以下の範囲であることを 確認できること。 ・1 協議 ・2 調停 ・3 審判 ・4 判決 ・5 和解 ・6 請求の認諾 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30155 「4-1コードテーブル」D20015 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択する ことができません。コード表 で確認して正しい数字を入 力してください。」(M90019)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.125 離 婚票単体 チェック機 能(調停・ 審判・和 解・請求 の認諾ま たは判決 の年月)	調停・審判・ 和解・請求 の認諾また は判決の年 月		0380177	「調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30165 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.126 離 婚票単体 チェック機 能(別居 する前の 住所(日 本・外国 の区分))	別居する前 の住所(日 本・外国の 区分)		0380178	「別居する前の住所(日本・外国の区分)」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 入力可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30185 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.127 離 婚票単体 チェック機 能(父、母 が親権を 行う子の 数)	父が親権を 行う子の 数、母が親 権を行う子 の数		0380179	「父母双方が親権を行う子の数」、「父(夫)が親権を行う子の数」、「母(妻)が親権を行う子の数」、「親権者の指定を求める家事審判又は家事調停の申立てがされている子の数」の入力値の合計が7人未満であることを確認できること。 ※1 7人以上の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30195、 K30205 「4-2画面メッセージ」M00015	(参考)「親権を行う子の数が多すぎます。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00015)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.128 離婚票単体チェック機能(同居を始めたとき)	同居を始めたとき		0380180	「同居を始めたとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 大正 ・2 昭和 ・3 平成 ・4 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30215 「4-1コードテーブル」D20159 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.129 離婚票単体チェック機能(同居を始めたとき)	同居を始めたとき		0380181	「同居を始めたとき」の入力値が、「元号」「年」「月」のいずれもスペースでないことを確認できること。 ※1「元号」「年」「月」のいずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30215 「4-2画面メッセージ」M90109	(参考)「「元号」「年」「月」のすべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M90109)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.130 離婚票単体チェック機能(別居したとき)	別居したとき		0380182	「別居したとき」の年号の入力値が以下の範囲であることを確認できること。 ・1 昭和 ・2 平成 ・3 令和 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30225 「4-1コードテーブル」D20039 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.131 離婚票単体チェック機能(別居したとき)]	別居したとき		0380183	「別居したとき」の入力値が、「元号」「年」「月」のいずれもスペースでないことを確認できること。 ※1「元号」「年」「月」のいずれか1つでもスペースの場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30225 「4-2画面メッセージ」M90109	(参考)「「元号」「年」「月」のすべての入力が必要です。入力するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M90109)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.132 離婚票単体チェック機能(別居前の世帯の主な仕事)	別居前の世帯の主な仕事		0380184	「別居前の世帯の主な仕事」の入力値がマスターデータの範囲であることを確認できること。 ※1 選択可能な数字でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」K30235 「4-1コードテーブル」D20089 「4-2画面メッセージ」M90019	(参考)「この数字は選択することができません。コード表で確認して正しい数字を入力してください。」(M90019)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.133 保存	保存		0380185	調査票情報を保存できること。 ※1 一時保存も可能であること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.134 関連チェック	関連チェック		0380186	各調査票「登録」処理時、入力値について必要な関連チェックを行うこと。 ※1 機能ID:0380061の単体チェック及び関連チェックにおいてエラーがあればメッセージを発行し正しい値の入力まで繰り返すこと。 ※2 ※1の結果全ての内容審査を終了した時、レコードを人口動態調査マスターファイルに書き込むこと。			◎	◎	標準仕様書第三版 「2-5業務概要」J31000項 No.3-1-3～5、J32000項 No.3-2-3～5、J33000項 No.3-3-5～7		令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.135 出生票関連チェック機能(2022年3月31日以前の嫡出子の父母の年齢制限)	2022年3月31日以前の嫡出子の父母の年齢制限		0380187	出生日時が2022年3月31日以前かつ、続き柄＝1(嫡出子)のとき、父の生年月日から計算した「子が生まれたときの父の年齢」が18歳以上、母の生年月日から計算した「子が生まれたときの母の年齢」が16歳以上であることを確認できること。 ※1 嫡出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30011 「4-2画面メッセージ」M00119	(参考)「嫡出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00119)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.136 出 生票関連 チェック機 能(非嫡 出子の父 親欄)	非嫡出子の 父親欄		0380188	続き柄＝2(非嫡出子)のとき、父の氏名、父の生 年月日及び父の国籍はスペースであることを確認 できること。 ※1 父に関する項目に値が入力されている場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30021 「4-2画面メッセージ」M00129	(参考)「非嫡出子の父に関 する項目の入力はできませ ん。修正してください。」 (M00129)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.137 出 生票関連 チェック機 能(非嫡 出子の父 親欄)	非嫡出子の 父親欄と母 の国籍		0380189	続き柄＝2(非嫡出子)かつ「母の国籍」が日本以 外であることを確認できること。 ※1 非嫡出子かつ母の国籍が日本以外の場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎		(参考)「胎児認知届が届出さ れているかを確認してくださ い。」(新規)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.138 出 生票関連 チェック機 能(非嫡 出子の母 の年齢制 限)	非嫡出子の 母の年齢制 限		0380190	続き柄＝2(非嫡出子)、母の生年月日から計算し た「子が生まれたときの母の年齢」が15歳以上で あることを確認できること。 ※1 母の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30031 「4-2画面メッセージ」M00139	(参考)「非嫡出子の母の年 齢が15歳未満です。修正す るか、誤りでなければ確認 欄に項目番号を記載してく ださい。」(M00139)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.139 出 生票関連 チェック機 能(非嫡 出子の同 居を始め たとき欄)	非嫡出子の 同居を始め たとき欄		0380191	続き柄＝2(非嫡出子)のとき、同居を始めたときに スペースであることを確認できること。 ※1 同居を始めたときがスペースでない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30041 「4-2画面メッセージ」M00041	(参考)「非嫡出子の場合、同 居を始めたときの入力は一 必要ありません。修正してく ださい。」(M00041)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.140 出 生票関連 チェック機 能(嫡出 子の同居 を始めた とき欄)	嫡出子の同 居を始めた とき欄		0380192	続き柄＝1(嫡出子)のとき、同居を始めたときがス ペースでないことを確認できること。 ※1 同居を始めたときがスペースである場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30051 「4-2画面メッセージ」M00051	(参考)「嫡出子の場合、同居 を始めたときの入力が必要 です。入力してください。」 (M00051)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.141 出 生票関連 チェック機 能(嫡出 子の父母 の年齢制 限)	嫡出子の父 母の年齢制 限		0380193	続き柄＝1(嫡出子)のとき、父の生年月日から計 算した、同居を始めたときの父の年齢が15歳以 上、母の生年月日から計算した、同居を始めた ときの母の年齢が15歳以上であることを確認でき ること。 ※1 父母の年齢が15歳未満の場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30061 「4-2画面メッセージ」M00139	(参考)「嫡出子の父母の同 居開始時の年齢が15歳未 満です。修正するか、誤りで なければ確認欄に項目番号 を記載してください。」 (M00139)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.142 出 生票関連 チェック機 能(2022 年4月1日 以降の嫡 出子の父 母の年齢 制限)	2022年4月1 日以降の嫡 出子の父母 の年齢制限		0380194	出生日時が2022年4月1日以降かつ、続き柄＝1 (嫡出子)のとき、父の生年月日から計算した、「子 が生まれたときの父の年齢」が18歳以上、または、 母の生年月日が2006年4月2日以降のとき、母の 生年月日から計算した「子が生まれたときの母の 年齢」が18歳以上であることを確認できること。 ※1 父母の年齢が18歳未満の場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30201 「4-2画面メッセージ」M00259	(参考)「嫡出子の父の年齢 が18歳未満、母の年齢が18 歳未満です。修正するか、 誤りでなければ確認欄に項 目番号を記載してください。」 (M00259)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.143 出 生票関連 チェック機 能(子の 体重と体 重不詳の 関係)	子の体重と 体重不詳の 関係		0380195	子の体重がスペースのとき、体重不詳＝1(不詳) であることを確認できること。 ※1 体重不詳にチェックが入っていない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30071 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00069	(参考)「体重欄、体重不詳欄 ともに入力してありません。 修正するか、誤りでなけれ ば確認欄に項目番号を記載 してください。」(M00069)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.144 出 生票関連 チェック機 能(子の 体重と体 重不詳の 関係)	子の体重と 体重不詳の 関係		0380196	体重不詳=1(不詳)のとき、子の体重はスペース であることを確認できること。 ※1 子の体重がスペースでない場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30081 「4-2画面メッセージ」M00079	(参考)「体重欄と体重不詳欄 の両方に入力してあります。 どちらかの記載が不要で す。修正してください。」 (M00079)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.145 出 生票関連 チェック機 能(子の 身長と身 長不詳の 関係)	子の身長と 身長不詳の 関係		0380197	子の身長がスペースのとき、身長不詳=1(不詳) であることを確認できること。 ※1 身長不詳にチェックが入っていない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30091 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00159	(参考)「身長欄と身長不詳欄 ともに入力してありません。 修正するか、誤りでなけれ ば確認欄に項目番号を記載 してください。」(M00159)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.146 出 生票関連 チェック機 能(子の 身長と身 長不詳の 関係)	子の身長と 身長不詳の 関係		0380198	身長不詳=1(不詳)のとき、子の身長はスペース であることを確認できること。 ※1 子の身長がスペースでない場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30101 「4-2画面メッセージ」M00169	(参考)「身長欄と身長不詳欄 の両方に入力してあります。 どちらかの記載が不要で す。修正してください。」 (M00169)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.147 出 生票関連 チェック機 能(子の 住所と居 住地の関 係(戸籍情 報システ ムとデー タ連携す る場合))	子の住所と 居住地の関 係(戸籍情 報システム とデータ連 携する場合)		0380199	戸籍情報システムからの送付データの場合、子の 住所と居住地の関係について、以下の内容に該当 することを確認できること。 【子の住所と居住地関連チェック項目】 ・受領した市区町村コード(子の住所)と届書受付 市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1 であること ・受領した市区町村コード(子の住所)と届書受付 市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1 以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示する こと。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30111 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M00029	(参考)「「届書受付市区町村 コードと住所地の市区町村 コードの関係」と「同・否」と の関係が矛盾しています。 修正してください。」(M00029)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.148 出 生票関連 チェック機 能(子の 住所と居 住地の関 係(戸籍情 報システ ムとデー タ連携し ない場 合))	子の住所と 居住地の関 係(戸籍情 報システム とデータ連 携しない場 合))		0380200	全項目を人口動態調査事務システムで入力した場 合、子の住所と居住地の関係について、以下の内 容に該当することを確認できること。 【子の住所と居住地関連チェック項目】 ・入力した市区町村コード(子の住所)と届書受付 市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1 であること ・入力した市区町村コード(子の住所)と届書受付 市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1 以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示する こと。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30111 「4-1コードテーブル」D20069 「4-2画面メッセージ」M00029	(参考)「「届書受付市区町村 コードと住所地の市区町村 コードの関係」と「同・否」と の関係が矛盾しています。 修正してください。」(M00029)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.149 出 生票関連 チェック機 能(多胎と 出産順位 の関係)	多胎と出産 順位の関係		0380201	多胎の場合、多胎の種類・出産順位の両方が入力 してあることを確認できること。 ※1 多胎の種類、出産順位が未入力の場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30121 「4-2画面メッセージ」M00089	(参考)「多胎の場合、「多胎 の種類・順位」の入力が必 要です。入力してください。」 (M00089)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.150 出 生票関連 チェック機 能(多胎と 出産順位 の関係)	多胎と出産 順位の関係		0380202	多胎の場合、多胎の種類≧出産順位であることを 確認できること。 ※1 多胎の種類≧出産順位でない場合、メッセー ジを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30131 「4-2画面メッセージ」M00099	(参考)「多胎の場合、「出産 順位」が「多胎の種類」を上 回ることはありません。修正 してください。」(M00099)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.151 出 生票関連 チェック機 能(多胎と 出産順位 の関係)	多胎と出産 順位の関係		0380203	多胎の場合、他の子の事件簿番号(出生・死産の 別及び事件簿番号)がスペースでないことを確認 できること。 ※1 他の子の事件簿番号がスペースの場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30141 「4-2画面メッセージ」M00179	(参考)「多胎の場合、他の子 の事件簿番号の入力が必 要です。入力してください。」 (M00179)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.152 出 生票関連 チェック機 能(多胎と 他の子の 事件簿番 号の関 係)	多胎と他の 子の事件簿 番号の関係		0380204	多胎の場合、入力内容と「生年月日」「子の住所」 「父の氏名」「母の氏名」が同じ調査票の有無を確 認できること。 ※1 入力内容と同じ調査票がある場合、メッセージ を表示すること。 ※2 該当の出生票、死産票の調査票種別名、事件 簿番号、受領番号を表示すること。			◎	◎		(参考)「「生年月日」「子の住 所」「父の氏名」「母の氏名」 が同じ死産票が存在します (調査票種別名、事件簿番 号:X~X、受領番号:X~ X)。多胎の可能性がありま すので、内容を確認してくだ さい。」(新規)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.153 出 生票関連 チェック機 能(出産 順位と出 産した子 の数の関 係)	出産順位と 出産した子 の数の関係		0380205	この母の出産した子の数・出生+この母の出産し た子の数・死産≧出産順位であることを確認できる こと。 ※1 出産もしくは死産した子の数が出産順位よりも 少ない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30151 「4-2画面メッセージ」M00061	(参考)「この母の出産した子 の数と出産順位の関係が矛 盾しています。修正するか、 誤りでなければ確認欄に項 目番号を記載してください。」 (M00061)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.154 出 生票関連 チェック機 能(この母 の出産し た子の 数)	この母の出 産した子の 数		0380206	1≤この母の出産した子の数≤15であることを確 認できること。 ※1 この母の出産した子の数が1未満又は16以上 の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30161 「4-2画面メッセージ」 M00181、M00199	(参考)1未満の場合「この出 生子も含めて記載するの で、「1」以上の入力が必要 です。修正してください。」 (M00181) (参考)16以上の場合「母の 出産(出生子+死産児)した 子の数が多すぎます。修正 するか、誤りでなければ確 認欄に項目番号を記載して ください。」(M00199)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.155 出 生票関連 チェック機 能(身長と 妊娠週数 の関係)	身長と妊娠 週数の関係		0380207	身長≠妊娠週数であることを確認できること。 ※1 身長＝妊娠週数の場合、メッセージを表示す ること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30171 「4-2画面メッセージ」M00311	(参考)「身長と妊娠週数が同 じ値になっています。誤りで ないか確認し、確認欄に項 目番号を記載してください。」 (M00311)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.156 出 生票関連 チェック機 能(出生 場所種別 と出生場 所名称の 関係)	出生場所種 別と出生場 所名称の関 係		0380208	出生場所種別＝1(病院)～3(助産所)のとき、出 生場所名称がスペースでないことを確認できるこ と。 ※1 出生場所名称がスペースの場合、メッセージ を表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30181 「4-2画面メッセージ」M00321	(参考)「「病院」、「診療所」、 「助産所」の場合は、施設名 称が必要です。入力してくだ さい。」(M00321)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.157 出 生票関連 チェック機 能(出生 場所種別 と出生場 所名称の 関係)	出生場所種 別と出生場 所名称の関 係		0380209	出生場所種別＝4(自宅)のとき、出生場所名称が スペースであることを確認できること。 ※1 出生場所名称がスペースでない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30191 「4-2画面メッセージ」M00331	(参考)「自宅の場合は、出生 場所名称の記載の必要があ りません。修正するか、誤り でなければ確認欄に項目番 号を記載してください。」 (M00331)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.158 死 亡票関連 チェック機 能(配偶 者の有無 と配偶者 の年齢の 関係)	配偶者の有 無と配偶者 の年齢の関 係		0380210	配偶者＝1(いる)のとき、配偶者の年齢はス ペースでないことを確認できること。 ※1 配偶者の年齢がスペースである場合、メ ッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30012 「4-2画面メッセージ」M00032	(参考)「配偶者がいる場合は 配偶者の年齢の記載が必 要です。修正するか、誤り でなければ確認欄に項目番号 を記載してください。」 (M00032)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.159 死 亡票関連 チェック機 能(配偶 者の有無 と配偶者 の年齢の 関係)	配偶者の有 無と配偶者 の年齢の関 係		0380211	配偶者＝2～4(いない)または5(不詳)のとき、配 偶者の年齢はスペースであることを確認できるこ と。 ※1 配偶者の年齢がスペースでない場合、メ ッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30022 「4-2画面メッセージ」M00042	(参考)「配偶者がいない場合 または不詳の場合は配偶者 の年齢の記載は必要ありま せん。修正してください。」 (M00032)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.160 死 亡票関連 チェック機 能(配偶 者の有無 と配偶者 の年齢の 関係)	配偶者の有 無と配偶者 の年齢の関 係		0380212	配偶者の年齢がスペースでないとき、配偶者＝1 (いる)であることを確認できること。 ※1 配偶者＝1でない場合、メッセージを表示す ること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30032 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00052	(参考)「配偶者の年齢が記 載してあるときは配偶者が いる場合です。修正してくだ さい。」(M00052)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.161 死 亡票関連 チェック機 能(配偶 者の有無 と配偶者 の年齢の 関係)	配偶者の有 無と配偶者 の年齢の関 係		0380213	配偶者の年齢がスペースのとき、配偶者＝2～4 (いない)または5(不詳)であることを確認できるこ と。 ※1 配偶者＝1の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30042 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00062	(参考)「配偶者の年齢が記 載してないときは配偶者が いない場合または不詳の場 合です。修正するか、誤り でなければ確認欄に項目番号 を記載してください。」 (M00062)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.162 死 亡票関連 チェック機 能(配偶 者の有無 と配偶者 の年齢の 関係)	死亡者の年 齢と配偶者 の有無の関 係		0380214	性別＝1(男)、生年月日と死亡したときから計算し た年齢が18歳未満のとき、配偶者＝2(いない・未 婚)であることを確認できること。 ※1 配偶者＝2(いない・未婚)以外の場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30052 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00072	(参考)「死亡者が18歳未満 の男性であるにもかかわらず配偶者がいるになってい ます。修正してください。」 (M00072)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.163 死 亡票関連 チェック機 能(2022 年3月以 前の死亡 者(女)の 年齢と配 偶者の有 無の関 係)	2022年3月 以前の死亡 者(女)の年 齢と配偶者 の有無の関 係		0380215	死亡したときが2022年3月31日以前かつ、性別＝2 (女)かつ、生年月日と死亡したときから計算した 年齢が16歳未満のとき、死亡した人の配偶者＝2 (いない・未婚)であることを確認できること。 ※1 配偶者＝2(いない・未婚)以外の場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30062 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00082	(参考)「死亡者が16歳未満 の女性であるにもかかわらず配偶者がいるになってい ます。修正してください。」 (M00082)」	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.164 死 亡票関連 チェック機 能(2022 年4月1日 以降の死 亡者(女) の年齢と 配偶者の 有無の関 係)	2022年4月1 日以降の死 亡者(女)の 年齢と配偶 者の有無の 関係		0380216	死亡したときが2022年4月1日以降かつ、性別＝2 (女)かつ、生年月日が2006年4月2日以降かつ、 生年月日と死亡したときから計算した年齢が18歳 未満のとき、死亡した人の配偶者＝2(いない・未 婚)であることを確認できること。 ※1 配偶者＝2(いない・未婚)以外の場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30162 「4-1コードテーブル」D20022 「4-2画面メッセージ」M00132	(参考)「死亡者が18歳未満 の女性であるにもかかわらず配偶者がいるになってい ます。修正してください。」 (M00132)」	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.165 死 亡票関連 チェック機 能(生年 月日と死 亡したとき の関係)	生年月日と 死亡したと きの関係		0380217	生年月日と死亡したときが全く同じのとき、死亡ま での期間が1日以内であることを確認できること。 ※1 1日以内でない場合、メッセージを表示するこ と。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30072 「4-2画面メッセージ」M00092	(参考)「生年月日と死亡した ときが同じであるにもかかわ らず死亡までの期間が1日 以上になっています。修正す るか、誤りでなければ確認 欄に項目番号を記載してく ださい。(M00092)」	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.166 死 亡票関連 チェック機 能(死因 の種類と 外因死の 追加事項 欄の関 係)	死因の種類 と外因死の 追加事項欄 の関係		0380218	死因の種類=2(交通)～11(不詳)のとき、外因死 の追加事項欄の記載があることを確認できること。 ※1 外因死の追加事項欄の記載がない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30082 「4-2画面メッセージ」M00102	(参考)「外因死の場合は、必 ず外因死の追加事項欄の 記載が必要です。修正する か、誤りでなければ確認欄 に項目番号を記載してくださ い。」「(M00102)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.167 死 亡票関連 チェック機 能(死因 の種類と 外因死の 追加事項 欄の関 係)	死因の種類 と外因死の 追加事項欄 の関係		0380219	外因死の追加事項欄の記載があるとき、死因の種 類=2(交通)～11(不詳)であることを確認できるこ と。 ※1 死因の種類=2(交通)～11(不詳)でない場 合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30092 「4-1コードテーブル」D20032 「4-2画面メッセージ」M00112	(参考)「外因死の追加事項 欄に記載がある場合は死因 の種類も外因死でなければ なりません。修正するか、誤 りでなければ確認欄に項目 番号を記載してください。」「 (M00112)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.168 死 亡票関連 チェック機 能(出生 から365日 以内に死 亡した場 合)	出生から 365日以内 に死亡した 場合		0380220	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が 365日以内で、死因の種類＝1(病死・自然死)のと き、生後1年未満で病死した場合の追加事項欄の 記載があることを確認できること。 ※1 生後1年未満で病死した場合の追加事項欄の 記載がない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30102 「4-2画面メッセージ」M00122	(参考)「生まれてから365日 以内の病死は生後1年未満 で病死した場合の追加事項 の記載が必要です。入力し てください。」(M00122)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.169 死 亡票関連 チェック機 能(出生 から365日 以内に死 亡した場 合)	出生から 365日以内 に死亡した 場合		0380221	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が 365日以内で、死因の種類＝1(病死・自然死)のと き、出生時体重がスペースなら、出生時体重不詳 ＝1(不詳)であることを確認できること。 ※1 出生時体重不詳＝1(不詳)でない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30112 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00069	(参考)「体重欄、体重不詳欄 ともに入力してありません。 修正するか、誤りでなけれ ば確認欄に項目番号を記載 してください。」(M00069)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.170 死 亡票関連 チェック機 能(出生 から365日 以内に死 亡した場 合)	出生から 365日以内 に死亡した 場合		0380222	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が 365日以内で、死因の種類＝1(病死・自然死)のと き、出生時体重不詳＝1なら、出産時体重がスペ ースであることを確認できること。 ※1 出産時体重がスペースでない場合、メッセー ジを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30122 「4-2画面メッセージ」M00079	(参考)「体重欄と体重不詳欄 の両方に入力してあります。 どちらかの記載が不要で す。修正してください。」 (M00079)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.171 死 亡票関連 チェック機 能(出生 から365日 以内に死 亡した場 合)	出生から 365日以内 に死亡した 場合		0380223	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が 365日以内で、死因の種類＝1(病死・自然死)のと き、多胎の場合、多胎の種類・出生順位は両方入 力されていることを確認できること。 ※1 多胎の種類・出生順位は両方入力されていな い場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30132 「4-2画面メッセージ」M00089	(参考)「多胎の場合、「多胎 の種類・順位」の入力が必 要です。入力してください。」 (M00089)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.172 死 亡票関連 チェック機 能(出生 から365日 以内に死 亡した場 合)	出生から 365日以内 に死亡した 場合		0380224	生年月日から死亡したときまでで計算した日数が 365日以内で、死因の種類＝1(病死・自然死)のと き、多胎の場合、多胎の種類≧出生順位であるこ とを確認できること。 ※1 多胎の種類≧出生順位でない場合、メッセー ジを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30142 「4-2画面メッセージ」M00099	(参考)「多胎の場合、「出産 順位」が「多胎の種類」を上 回ることはありません。修正 してください。」(M00099)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.173 死 亡票関連 チェック機 能(死亡し た人の住 所と届出 地の関係 (戸籍情報 システム とデータ 連携する 場合))	死亡した人 の住所と届 出地の関係 (戸籍情報 システムと データ連携 する場合)		0380225	戸籍情報システムからの送付データの場合、死亡 した人の住所と届出地の関係について以下の内 容に該当することを確認できること。 【死亡した人の住所と届出地の関連チェック項目】 ・受領した市区町村コード(死亡者の住所)と届書 受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数 字は1であること ・受領した市区町村コード(死亡者の住所)と届書 受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数 字は1以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示す ること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30152 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M00029	(参考)「「届書受付市区町村 コードと住所地の市区町村 コードの関係」と「同・否」の 関係が矛盾しています。修 正してください。」(M00029)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.174 死亡票関連チェック機能(死亡した人の住所と届出地の関係(戸籍情報システムとデータ連携しない場合))	死亡した人の住所と届出地の関係(戸籍情報システムとデータ連携しない場合)		0380226	全項目を人口動態調査事務システムで入力した場合、死亡した人の住所と届出地の関係について以下の内容に該当することを確認できること。 【死亡した人の住所と届出地の関連チェック項目】 ・入力した市区町村コード(死亡者の住所)と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・入力した市区町村コード(死亡者の住所)と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記に該当しない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」L30152「4-1コードテーブル」D20129「4-2画面メッセージ」M00029	(参考)「「届書受付市区町村コードと住所地の市区町村コードの関係」と「同・否」の関係が矛盾しています。修正してください。」(M00029)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.175 死産票関連チェック機能(2022年3月31日以前の死産児の続き柄と父母の年齢の関係)	2022年3月31日以前の死産児の続き柄と父母の年齢の関係		0380227	死産があったときに2022年3月31日以前かつ、続き柄＝1(嫡出子)のとき、父の年齢は18歳以上、母の年齢は16歳以上であることを確認できること。 ※1 父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」L30013「4-2画面メッセージ」M00119	(参考)「嫡出子の父の年齢が18歳未満、母の年齢が16歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00119)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.176 死産児の続き柄と父母の年齢の関係	死産児の続き柄と父母の年齢の関係		0380228	続き柄＝2(非嫡出子)のとき、父の国籍及び父の氏名～年齢はスペースであることを確認できること。 ※1 父の本籍、父の国籍及び父の氏名～年齢がスペースでない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」L30023「4-2画面メッセージ」M00129	(参考)「非嫡出子の父に関する項目の入力はできません。修正してください。」(M00129)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.177 死 産票関連 チェック機 能(死産 児の続き 柄と父母 の年齢の 関係)	死産児の続 き柄と父母 の年齢の関 係		0380229	続き柄=2(非嫡出子)のとき、母の年齢が15歳以 上であることを確認できること。 ※1 母の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30033 「4-2画面メッセージ」M00139	(参考)「非嫡出子の母の年 齢が15歳未満です。修正す るか、誤りでなければ確認 欄に項目番号を記載してく ださい。」(M00139)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.178 死 産票関連 チェック機 能(2022 年4月1日 以降の死 産児の続 き柄と父 母の年齢 の関係)	2022年4月1 日以降の死 産児の続き 柄と父母の 年齢の関係		0380230	死産があったときに2022年4月1日以降かつ、続き 柄=1(嫡出子)のとき、父の年齢は18歳以上、母 の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 父母の年齢が18歳未満の場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30183 「4-2画面メッセージ」M00259	(参考)「嫡出子の父の年齢 が18歳未満、母の年齢が18 歳未満です。修正するか、 誤りでなければ確認欄に項 目番号を記載してください。」 (M00259)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.179 妊 娠週数と 死産の自 然・人工別 の関係	妊娠週数と 死産の自然 ・人工別の 関係		0380231	妊娠週数≥22、胎児死亡の時期にマークがあると き、死産の自然・人工別=1(自然)であることを確 認できること。 ※1 死産の自然・人工別=1(自然)でない場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30043 「4-1コードテーブル」D20033 「4-2画面メッセージ」M00063	(参考)「妊娠週数が22週以 上であるのに、人工死産と なっています。修正するか、 誤りでなければ確認欄に項 目番号を記載してください。」 (M00063)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.180 死 産票関連 チェック機 能(妊娠 週数と死 産の自 然・人工 別の関 係)	妊娠週数と 死産の自 然・人工別 の関係		0380232	妊娠週数 ≥ 22 のとき、死産の自然・人工別 $=2$ (法 による)でないことを確認できること。 ※1 死産の自然・人工別 $=2$ (法による)の場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30053 「4-1コードテーブル」D20033 「4-2画面メッセージ」M00073	(参考)「妊娠週数が22週以 上であるのに、法による人 工死産となっています。修正 するか、誤りでなければ確認 欄に項目番号を記載して ください。」(M00073)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.181 死 産票関連 チェック機 能(妊娠 週数と死 産の自 然・人工 別の関 係)	妊娠週数と 死産の自 然・人工別 の関係		0380233	胎児死亡の時期にマークがあるとき、妊娠週数 ≥ 22 及び死産の自然・人工別 $=1$ (自然)であることを 確認できること。 ※1 妊娠週数 ≥ 22 及び死産の自然・人工別 $=1$ (自然)でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30063 「4-2画面メッセージ」M00083	(参考)「胎児死亡の時期の 記載があるのに、自然死産 以外となっています。修正す るか、誤りでなければ確認 欄に項目番号を記載してく ださい。」(M00083)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.182 死 産票関連 チェック機 能(妊娠 週数と死 産の自 然・人工 別の関 係)	妊娠週数と 死産の自 然・人工別 の関係		0380234	死産の自然・人工別 $=1$ (自然)で妊娠週数 ≥ 22 の とき、胎児死亡の時期にマークがあることを確認で きること。 ※1 胎児死亡の時期にマークがない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30073 「4-2画面メッセージ」M00093	(参考)「自然死産で妊娠週 数が22週以後のときは、胎 児死亡の時期の記載が必要 です。入力してください。」 (M00093)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.183 死産票関連チェック機能(妊娠週数と死産の自然・人工別の関係)	妊娠週数と死産の自然・人工別の関係		0380235	死産の自然・人工別＝2(法による)のとき、妊娠週数<22であることを確認できること。 ※1 妊娠週数が22週以上である場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30083 「4-2画面メッセージ」M00103	(参考)「法による人工死産であるのに、妊娠週数が22週以上です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00103)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.184 死産票関連チェック機能(死産があったときの母の住所と届出地の関係)	死産があったときの母の住所と届出地の関係		0380236	死産があったときの母の住所と届出地の関係について以下の内容に該当することを確認できること。 【死産があったときの母の住所と届出地の関連チェック項目】 ・入力した市区町村コード(母の住所)と届書受付市区町村コードが等しい場合、「同・否」の数字は1であること ・入力した市区町村コード(母の住所)と届書受付市区町村コードが異なる場合、「同・否」の数字は1以外であること ※1 上記の内容に該当しない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30093 「4-1コードテーブル」D20129 「4-2画面メッセージ」M00029	(参考)「「届書受付市区町村コードと住所地の市区町村コードの関係」と「同・否」との関係が矛盾しています。修正してください。」(M00029)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.185 死産児の体重と体重不詳の関係	死産児の体重と体重不詳の関係		0380237	死産児の体重がスペースのとき、体重不詳＝1(不詳)であることを確認できること。 ※1 体重不詳＝1(不詳)でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30103 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00069	(参考)「体重欄、体重不詳欄ともに入力してありません。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00069)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.186 死 産票関連 チェック機 能(死産 児の体重 と体重不 詳の関 係)	死産児の体 重と体重不 詳の関係		0380238	体重不詳＝1(不詳)のとき、死産児の体重はス ペースであることを確認できること。 ※1 死産児の体重がスペースでない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30113 「4-2画面メッセージ」M00079	(参考)「体重欄と体重不詳欄 の両方に入力してあります。 どちらかの記載が不要で す。修正してください。」 (M00079)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.187 死 産票関連 チェック機 能(死産 児の体重 と体重不 詳の関 係)	死産児の体 重と体重不 詳の関係		0380239	死産児の身長がスペースのとき、身長不詳＝1(不 詳)であることを確認できること。 ※1 身長不詳＝1(不詳)でない場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30123 「4-1コードテーブル」D20109 「4-2画面メッセージ」M00159	(参考)「身長欄、身長不詳欄 ともに入力してありません。 修正するか、誤りでなけれ ば確認欄に項目番号を記載 してください。」(M00159)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.188 死 産票関連 チェック機 能(死産 児の体重 と体重不 詳の関 係)	死産児の体 重と体重不 詳の関係		0380240	身長不詳＝1(不詳)のとき、死産児の身長はス ペースであることを確認できること。 ※1 死産児の身長がスペースでない場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30133 「4-2画面メッセージ」M00169	(参考)「身長欄と身長不詳欄 の両方に入力してあります。 どちらかの記載が不要で す。修正してください。」 (M00169)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.189 死 産票関連 チェック機 能(多胎と 多胎の種 類、出産 順位の関 係)	多胎と多胎 の種類、出 産順位の関 係		0380241	多胎の場合、多胎の種類・出産順位は全て入力し てあることを確認できること。 ※1 多胎の種類・出産順位を全て入力していない 場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30143 「4-2画面メッセージ」M00089	(参考)「多胎の場合、「多胎 の種類・順位」の入力が必 要です。入力してください。」 (M00089)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.190 死 産票関連 チェック機 能(多胎と 多胎の種 類、出産 順位の関 係)	多胎と多胎 の種類、出 産順位の関 係		0380242	多胎の場合、多胎の種類≧出産順位であることを 確認できること。 ※1 出産順位が多胎の種類よりも多い場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30153 「4-2画面メッセージ」M00099	(参考)「多胎の場合、「出産 順位」が「多胎の種類」を上 回ることはありません。修正 してください。」(M00099)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.191 死 産票関連 チェック機 能(多胎と 他の子の 事件簿番 号の関 係)	多胎と他の 子の事件簿 番号の関係		0380243	多胎の場合、他の子の事件簿番号(死産・出生の 別及び事件簿番号)はスペースでないことを確認 できること。 ※1 他の子の事件簿番号がスペースの場合、メッ セージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30163 「4-2画面メッセージ」M00179	(参考)「多胎の場合、他の子 の事件簿番号の入力が必 要です。入力してください。」 (M00179)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.192 死 産票関連 チェック機 能(多胎と 他の子の 事件簿番 号の関 係)	多胎と他の 子の事件簿 番号の関係		0380244	多胎の場合、入力内容と「生年月日」「子の住所」 「父の氏名」「母の氏名」が同じ調査票の有無を確 認できること。 ※1 入力内容と同じ調査票がある場合、メッセージ を表示すること。 ※2 該当の出生票、死産票の調査票種別名、事件 簿番号、受領番号を表示すること。			◎	◎		(参考)「「生年月日」「子の住 所」「父の氏名」「母の氏名」 が同じ死産票が存在します (調査票種別名、事件簿番 号:X~X、受領番号:X~ X)。多胎の可能性がありま すので、内容を確認してくだ さい。」(新規)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.193 死 産票関連 チェック機 能(この母 の出産し た子の 数)	この母の出 産した子の 数		0380245	この母の出産した子の数(出生子+22週以後の死 産児+21週以前の死産児)について、1≤この母 の出産した子の数≤15であることを確認できるこ と。 ※1 この母の出産した子の数が1未満の場合、メッ セージを表示すること。 ※2 この母の出産した子の数が16以上の場合、 メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30173 「4-2画面メッセージ」 M00353、M00199	(参考)「この死産児も含めて 記載するので、「1」以上の 入力が必要です。修正する か、誤りでなければ確認欄 に項目番号を記載してくださ い。」(M00353) M00353は標準仕様書第三 版から変更 (参考)「母の出産(出生子+ 死産児)した子の数が多す ぎます。修正するか、誤りで なければ確認欄に項目番号 を記載してください。」 (M00199)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.194 婚 姻票関連 チェック機 能(婚姻 時の夫の 年齢)	婚姻時の夫 の年齢		0380246	市区町村受付年月日と夫の生年月から計算した 夫の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30014 「4-2画面メッセージ」M00219	(参考)「夫の年齢が18歳未 満になっています。修正する か、誤りでなければ確認欄 に項目番号を記載してくださ い。」(M00219)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.195 婚 姻票関連 チェック機 能(婚姻 時の妻の 年齢(2022 年3月31 日以前))	婚姻時の妻 の年齢 (2022年3月 31日以前)		0380247	受付年月日が2022年3月31日以前のとき、市区町 村受付年月日と妻の生年月から計算した妻の年 齢が16歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30024 「4-2画面メッセージ」M00229	(参考)「妻の年齢が16歳未 満になっています。修正する か、誤りでなければ確認欄 に項目番号を記載してくださ い。」(M00229)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都 道 府 県	指 定 都 市	中 核 市	一 般 市 区 町 村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.196 婚姻票関連チェック機能(婚姻時の妻の年齢(2022年4月1日以降))	婚姻時の妻の年齢 (2022年4月1日以降)		0380248	受付年月日が2022年4月1日以降のとき、受付年月日と妻の生年月から計算した妻の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30134 「4-2画面メッセージ」M00269	(参考)「妻の年齢が18歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00269)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.197 婚姻票関連チェック機能(同居を始めたときの夫の年齢)	同居を始めたときの夫の年齢		0380249	夫の生年月と同居を始めたときから計算した夫の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30034 「4-2画面メッセージ」M00239	(参考)「同居を始めたときの夫の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00239)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.198 婚姻票関連チェック機能(同居を始めたときの妻の年齢)	同居を始めたときの妻の年齢		0380250	妻の生年月と同居を始めたときから計算した妻の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30044 「4-2画面メッセージ」M00249	(参考)「同居を始めたときの妻の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00249)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.199 婚姻票関連チェック機能(婚姻解消時の夫の年齢)	婚姻解消時の夫の年齢		0380251	夫の生年月と夫の死・離別年月から計算した夫の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30054 「4-2画面メッセージ」M00014	(参考)「婚姻解消時の夫の年齢が18歳未満です。修正してください。」(M00014)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.200 婚 姻票関連 チェック機 能(婚姻 解消時の 妻の年齢 (2022年3 月31日以 前))	婚姻解消時 の妻の年齢 (2022年3月 31日以前)		0380252	受付年月日が2022年3月31日以前のとき、妻の生 年月と妻の死・離別年月から計算した妻の年齢が 16歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30064 「4-2画面メッセージ」M00024	(参考)「婚姻解消時の妻の 年齢が16歳未満です。修正 してください。」(M00024)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.201 婚 姻票関連 チェック機 能(婚姻 解消時の 妻の年齢 (2022年4 月1日以 降))	婚姻解消時 の妻の年齢 (2022年4月 1日以降)		0380253	受付年月日が2022年4月1日以降のとき、妻の生 年月と妻の死・離別年月から計算した妻の年齢が 18歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30144 「4-2画面メッセージ」M00094	(参考)「婚姻解消時の妻の 年齢が18歳未満になってい ます。修正するか、誤りでな ければ確認欄に項目番号を 記載してください。」(M00094)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.203 婚 姻票関連 チェック機 能(同居を 始めたときと夫の 死・離別 年月の関 係)	同居を始め たときと夫 の死・離別 年月の関係		0380254	同居を始めたときと夫の死・離別年月が同一でな いことを確認できること。 ※1 同居を始めたときと夫の死・離別年月が同一 である場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30074 「4-2画面メッセージ」M00034	(参考)「同居を始めたときと 夫の婚姻解消時が同一に なっています。修正するか、 誤りでなければ確認欄に項 目番号を記載してください。」 (M00034)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.204 婚 姻票関連 チェック機 能(初婚・ 再婚の別 と死・離別 の別の関 係)	初婚・再婚 の別と死・ 離別の別の 関係		0380255	初婚・再婚の別＝1(初婚)のとき、死・離別年月は スペースであることを確認できること。 ※1 死・離別年月がスペースでない場合、メッセー ジを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30084 「4-2画面メッセージ」M00044	(参考)「初婚の場合、婚姻解 消年月の記載は必要ありま せん。修正してください。」 (M00044)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.205 婚 姻票関連 チェック機 能(初婚・ 再婚の別 と死・離別 の別の関 係)	初婚・再婚 の別と死・ 離別の別の 関係		0380256	初婚・再婚の別＝2(離別)または3(死別)のとき、 死・離別年月はスペースでないことを確認できるこ と。 ※1 死・離別年月がスペースの場合、メッセージを 表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30094 「4-2画面メッセージ」M00054	(参考)「再婚の場合、婚姻解 消年月の記載が必要です。 修正するか、誤りでなけれ ば備考欄にその旨記載して ください。」(M00054)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.206 婚 姻票関連 チェック機 能(初婚・ 再婚の別 と死・離別 の別の関 係)	初婚・再婚 の別と死・ 離別の別の 関係		0380257	死・離別年月に記載があるとき、初婚・再婚の別＝ 2(離別)または3(死別)であることを確認できるこ と。 ※1 初婚・再婚の別＝2(離別)または3(死別)でな い場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30104 「4-2画面メッセージ」M00064	(参考)「婚姻解消年月に記 載があるときは、初婚ではあ りません。修正してくださ い。」(M00064)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.207 婚 姻票関連 チェック機 能(死・離 別年月)	死・離別年 月		0380258	夫の死・離別年月と妻の死・離別年月が同一でな いことを確認できること。 ※1 夫の死・離別年月と妻の死・離別年月が同じ 場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30114 「4-2画面メッセージ」M00074	(参考)「夫妻の婚姻解消年 月が同一です。修正する か、誤りでなければ確認欄 に項目番号を記載してくださ い。」(M00074)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.208 離婚票関連チェック機能(離婚時の夫の年齢)	離婚時の夫の年齢		0380259	市区町村受付年月日と夫の生年月から計算した夫の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」L30015「4-2画面メッセージ」M00219	(参考)「夫の年齢が18歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00219)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.209 離婚票関連チェック機能(離婚時の妻の年齢(2022年3月31日以前))	離婚時の妻の年齢 (2022年3月31日以前)		0380260	受付年月日が2022年3月31日以前のとき、受付年月日と妻の生年月から計算した妻の年齢が16歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が16歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」L30025「4-2画面メッセージ」M00229	(参考)「妻の年齢が16歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00229)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.210 離婚票関連チェック機能(離婚時の妻の年齢(2022年4月1日以降))	離婚時の妻の年齢 (2022年4月1日以降)		0380261	受付年月日が2022年4月1日以降のとき、受付年月日と妻の生年月から計算した妻の年齢が18歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が18歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」L30095「4-2画面メッセージ」M00269	(参考)「妻の年齢が18歳未満になっています。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00269)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.211 離婚票関連チェック機能(同居を始めたときの夫の年齢)	同居を始めたときの夫の年齢		0380262	夫の生年月と同居を始めたときから計算した夫の年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 夫の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版「3-4チェック仕様」L30035「4-2画面メッセージ」M00239	(参考)「同居を始めたときの夫の年齢が15歳未満です。修正するか、誤りでなければ確認欄に項目番号を記載してください。」(M00239)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.212 離 婚票関連 チェック機 能(同居を 始めたとき の妻の年 齢)	同居を始め たときの妻 の年齢		0380263	妻の生年月と同居を始めたときから計算した妻の 年齢が15歳以上であることを確認できること。 ※1 妻の年齢が15歳未満の場合、メッセージを表 示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30045 「4-2画面メッセージ」M00249	(参考)「同居を始めたときの 妻の年齢が15歳未満です。 修正するか、誤りでなけれ ば確認欄に項目番号を記載 してください。」(M00249)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.213 離 婚票関連 チェック機 能(離婚の 種別と調停・審 判・和解・請 求の認諾また は判決の年月 の関係)	離婚の種別 と調停・審 判・和解・請 求の認諾また は判決の年月 の関係		0380264	離婚の種別＝1(協議)のとき、調停・審判・和解・ 請求の認諾または判決の年月はスペースであるこ とを確認できること。 ※1 調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年 月がスペースでない場合、メッセージを表示するこ と。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30055 「4-2画面メッセージ」M00025	(参考)「協議離婚の場合、調 停・審判・和解・請求の認諾 または判決の年月の記載は 必要ありません。修正してく ださい。」(M00025)	令和8年4月1日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.214 離 婚票関連 チェック機 能(離婚の 種別と調停・審 判・和解・請 求の認諾また は判決の年月 の関係)	離婚の種別 と調停・審 判・和解・請 求の認諾また は判決の年月 の関係		0380265	離婚の種別＝2(調停)・3(審判)・4(判決)・5(和 解)または6(請求の承諾)のとき、調停・審判・和 解・請求の認諾または判決の年月がスペースでな いことを確認できること。 ※1 調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年 月がスペースである場合、メッセージを表示するこ と。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30065 「4-2画面メッセージ」M00035	(参考)「調停、審判、和解、 請求の認諾または判決によ る離婚の場合、調停・審判・ 和解・請求の認諾または判 決の年月の記載が必要で す。修正してください。」 (M00035)	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.215 離婚票関連 チェック機能(離婚 の種別と調停・審 判・和解・請求の認 諾または判決の年 月の関係)	離婚の種別 と調停・審 判・和解・請 求の認諾ま たは判決の 年月の関係		0380266	調停・審判・和解・請求の認諾または判決の年月 に記載があるとき、離婚の種別は2(調停)・3(審 判)・4(判決)・5(和解)または6(請求の認諾)であ ることを確認できること。 ※1 離婚の種別＝1(協議)の場合、メッセージを表示 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30075 「4-1コードテーブル」D20015 「4-2画面メッセージ」M00045	(参考)「調停・審判・和解・請 求の認諾または判決の年月 に記載があるときは、協議 離婚ではありません。修正し てください。」(M00045)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.216 離婚票関連 チェック機能(同居を 始めたときと別居し たときの年月の関係)	同居を始め たときの年 月と別居し たときの年 月の関係		0380267	同居を始めたときの年月≦別居したときの年月で あることを確認できること。 ※1 同居を始めたときの年月≦別居したときの年 月でない場合、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4チェック仕様」L30085 「4-2画面メッセージ」M00055	(参考)「同居を始めたときと 別居したときの関係が矛盾 しています。修正してくださ い。」(M00055)	令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.217 メッセージ	メッセージ		0380268	調査票の作成が必要な届書レコードが存在する場 合、メッセージを表示し処理を継続するか終了する か選択できること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-1-6		令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.218 不要レコード	不要レコー ド		0380269	人口動態調査票の作成を要さない届書レコードを 不要レコードに設定できること。 ※1 不要レコードは、そのレコードが存在する限 り、必要なレコードに復帰できる。			○	○	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」J31000		令和8年4月1日
01 調査票	1.1 調査票作成機能	1.1.219 削除	削除		0380270	調査票情報を削除できること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.220 再 入力デー タ	再入力デー タ		0380271	決裁前と後に作成したデータを管理できること。			○	○	決裁前と後で作成したデー タ双方を保持し、画面上で要 否を判別させる。		令和8年4月1日
01 調査 票	1.2 調 査票検 索機能	1.2.1 検索	検索		0380272	調査票種別、事件簿番号、事件発生日、受付日、 受領番号で、作成済み調査票を検索できること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査 票	1.3 調 査票一 覧管理 機能	1.3.1 検索 結果	検索結果		0380273	機能ID:0380272での検索結果を一覧で表示できる こと。 ※1 一覧画面において、進捗、調査票送付日、事 件簿番号、受付日、受領番号を表示すること。			○	○			令和8年4月1日
01 調査 票	1.3 調 査票一 覧管理 機能	1.3.2 処理 状況	処理状況		0380274	出生、死亡、婚姻及び離婚の各届書レコードの戸 籍情報システムからの受付状況及び人口動態調 査事務システムでの当該レコードの処理状況を表 示すること。 死産届書の人口動態調査事務システムでの処理 状況を画面に表示すること。			○	○	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-3-1		令和8年4月1日
01 調査 票	1.3 調 査票一 覧管理 機能	1.3.3 処理 状況出力	処理状況出力		0380275	機能ID:0380274の画面を出力できること。			○	○	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-3-1		令和8年4月1日
01 調査 票	1.4 調 査票出 力機能	1.4.1 電子 媒体出力	電子媒体出力		0380276	調査票の電子媒体出力ができること。 ※1 出力範囲を指定しての出力が可能。 ※3 文字コードはS-JIS又はUNICODEを使用。 ※4 出力前に電子媒体を初期化すること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.2 出力	出力		0380277	機能ID:0380276において電子媒体出力した調査票に、外字が含まれている場合、外字出現情報一覧表が出力されること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.3 出力	出力		0380278	任意のタイミングで媒体への出力内容を画面上で確認できること。 ※1 媒体内容を印刷することは可能。			○	○			令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.4 出力	出力		0380279	媒体出力内容を出力できること。			○	○			令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.5 出力	出力		0380280	調査票データの印刷ができること。 ※1 一括出力(前回出力以降に作成された調査票を出力)と個票出力(指定した事件簿番号の調査票を出力)の両方が可能。 ※2 該当するレコードが存在する限り出力すること。 ※3 紙媒体での出力の場合、外字も印字されるため、外字出現情報一覧表の出力は不要。 ※4 備考欄の印字文字数が、60文字を超える場合は、61文字以降を備考欄別紙に印字すること。			◎	◎			令和8年4月1日
01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.6 出力	出力		0380281	備考欄別紙の出力ができること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.4 調 査票出 力機能	1.4.7 事件 簿番号修 正	事件簿番号 修正		0380282	機能ID:0380276及び0380280において、調査票出 力前に事件簿番号が修正できること。 ※1 開始番号の入力により自動で連番が振れるこ と。 ※2 ※1に対し、手動でも番号が振れること。			○	○			令和8年4月1日
01 調査 票	1.4 調 査票出 力機能	1.4.8 報告 漏れ防止	報告漏れ防 止		0380283	機能ID:0380276において、報告漏れを防止するた めに注意喚起などのメッセージを出力する機能を 実装すること。			◎	◎	受理照会した届書の調査票 を報告漏れすることがあるこ とから、報告漏れをチェック する。	例:該当があるときに確認 メッセージを出力する、該当 の有無にかかわらず、毎回 確認メッセージを出力する等	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都 道 府 県	指 定 都 市	中 核 市	一 般 市 区 町 村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
02 事件簿													
02 事件簿	2.1 調査票検索機能	2.1.1 調査票検索	調査票検索		0380284	作成場所、調査票種別、送付年月日で調査票を抽出できること。 ※1 抽出には送付年月日の入力が必要。			○	○			令和8年4月1日
02 事件簿	2.2 事件簿一覧管理機能	2.2.1 一覧表示	一覧表示		0380285	機能ID:0380284での抽出結果を一覧で表示できること。 ※1 事件簿番号の降順で表示すること。 ※2 一覧画面において、進捗、調査票送付日、事件簿番号、受付日、受領番号を表示すること。			◎	◎			令和8年4月1日
02 事件簿	2.2 事件簿一覧管理機能	2.2.2 処理状況	処理状況		0380286	機能ID:0380285において、人口動態調査事務システムからダウンロードされたレコードの処理状況及び全項目入力したレコードの詳細情報を画面上に出力すること。			○	○	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-1		令和8年4月1日
02 事件簿	2.2 事件簿一覧管理機能	2.2.3 支所管理	支所管理		0380287	機能ID:0380285において、支所ごとに絞り込みができること。			○	○			令和8年4月1日
02 事件簿	2.2 事件簿一覧管理機能	2.2.4 削除	削除		0380288	事件簿情報を削除できること。			○	○			令和8年4月1日
02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.1 プレビュー表示	プレビュー表示		0380289	事件簿の出力イメージを表示できること。			○	○			令和8年4月1日
02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.2 出力	出力		0380290	事件簿及び番号簿(機能ID:0380285の一覧画面)を出力できること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-1		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.3 出力	出力		0380291	機能ID:0380290について、全件出力できること。 ※1 該当年に届書を受付け、調査票を作成した事件について出力すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-2		令和8年4月1日
02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.4 出力	出力		0380292	機能ID:0380290について、指定出力できること。 ※1 指定した「月」に受付けた届書のうち、調査票を作成した事件について出力すること。 ※2 削除した事件も含む。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」3-6-2		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
03 人口動態調査市町村送付票													
03 人口動態調査市町村送付票	3.1 送付票作成機能	3.1.1 新規作成	新規作成		0380293	送付票の新規作成ができること。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.1 送付票作成機能	3.1.2 保存	保存		0380294	送付票情報を保存できること。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.1 送付票作成機能	3.1.3 修正	修正		0380295	作成済み送付票の修正ができること。 ※1 送付票一覧画面において、修正したい送付票を押下することで修正可能。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.1 送付票作成機能	3.1.4 削除	削除		0380296	送付票情報を削除できること。 ※1 送付票一覧画面において、削除したい送付票を選択し、削除ボタン押下で削除可能。			○	○			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.2 送付票検索機能	3.2.1 送付票検索	送付票検索		0380297	処理年を指定することで、送付票情報を検索できること。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口動態調査市町村送付票	3.3 送付票一覧管理機能	3.3.1 送付票検索結果	送付票検索結果		0380298	機能ID:0380297での検索結果を一覧で表示できること。 ※1 送付日の降順で表示すること。 ※2 一覧画面において、送付票番号、送付日、出生票番号、死亡票番号、死産票番号、婚姻票番号、離婚票番号を表示すること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
03 人口 動態調 査市町 村送付 票	3.3 送 付票一 覧管理 機能	3.3.2 送付 票検索結 果	送付票検索 結果		0380299	機能ID:0380298での検索結果について1件ずつ送 付票出力範囲情報が表示できること。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口 動態調 査市町 村送付 票	3.4 送 付票出 力機能	3.4.1 プレ ビュー表 示	プレビュー 表示		0380300	送付票の出力イメージを表示できること。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口 動態調 査市町 村送付 票	3.4 送 付票出 力機能	3.4.2 出力	出力		0380301	既存の送付票を一覧から選択し出力できること。 ※1 複数出力可。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口 動態調 査市町 村送付 票	3.4 送 付票出 力機能	3.4.3 出力	出力		0380302	送付番号、送付年月日を入力し、事件簿番号を設 定することで、新規の送付票を出力できること。 ※1 送付票番号、送付年月日にはそれぞれ、作成 済みの送付票番号のうち最大値+1、本日の日付 を初期値として設定。			◎	◎			令和8年4月1日
03 人口 動態調 査市町 村送付 票	3.4 送 付票出 力機能	3.4.4 自動 出力	自動出力		0380303	機能ID:0380302において、自動出力ができること。 ※1 前回送付票に記載した事件簿番号以降の事 件簿番号に関する送付票の出力を行うこと。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-2-1		令和8年4月1日
03 人口 動態調 査市町 村送付 票	3.4 送 付票出 力機能	3.4.5 出力	出力		0380304	機能ID:0380302において、番号入力ができること。 ※1 送付する調査票の事件簿番号を指定して出力 を行うこと。 ※2 入力値と実際のレコードに矛盾がないか審査 すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-2-3		令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
03 人口 動態調 査市町 村送付 票	3.4 送 付票出 力機能	3.4.6 出力	出力		0380305	機能ID:0380304において、自動で事件簿番号を取 得できること。			○	○			令和8年4月1日
03 人口 動態調 査市町 村送付 票	3.4 送 付票出 力機能	3.4.7 出力	出力		0380306	機能ID:0380302において、該当する調査票が存在 しない場合は、メッセージを表示すること。			◎	◎	標準仕様書第三版 「3-4業務概要」1-2-2 「4-2画面メッセージ」M12028	(参考)「送付すべき調査票が 存在しません。確認してくだ さい。(M12028)」	令和8年4月1日

人口動態調査事務システム

機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オプション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改定した項目の種別)	機能ID	機能要件	都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
04 受理証明書													
04 受理証明書	4.1 死産票作成機能	4.1.1 入力	入力		0380308	以下の項目をシステム入力して印字ができること。 ・届出人の戸籍(国籍)の表示 ・届出人の氏名 ・届出の要旨			◎	◎			令和8年4月1日
04 受理証明書	4.2 死産票検索機能	4.2.1 検索	検索		0380309	支所名、死産があったとき、受付日を指定することで、死産票情報を抽出できること。			◎	◎			令和8年4月1日
04 受理証明書	4.3 死産票一覧管理機能	4.3.1 検索結果	検索結果		0380310	機能ID:0380309の検索結果を一覧で表示できること。 ※1 受付日及び事件簿番号の降順で表示すること。 ※2 一覧画面において、進捗、事件簿番号、受付日、父の氏名、母の氏名、分娩日を表示すること。			◎	◎			令和8年4月1日
04 受理証明書	4.4 受理証明書出力機能	4.4.1 プレビュー表示	プレビュー表示		0380311	機能ID:0380310で表示された死産票一覧から選択した死産票について死産届の受理証明書の出力イメージを表示できること。 ※入力画面上で出力イメージが確認できる機能の実装でも可とする。			◎	◎			令和8年4月1日
04 受理証明書	4.4 受理証明書出力機能	4.4.2 出力	出力		0380312	機能ID:0380310で表示された死産票一覧から選択した死産票について死産届の受理証明書を出力できること。 ※1 複数出力可。 ※2 出力前に出力先及び管掌者を設定できること。 ※3 イメージ表示ができること。			◎	◎			令和8年4月1日

人口動態調査事務システム
機能・帳票要件【第3.0版】

(自治体規模ごとの実装類型)
◎…実装必須機能、○…標準オ
プション機能、×…実装不可機

大項目	中項目	小項目	機能名称	改定種別 (直前の版から改 定した項目の種 別)	機能ID	機能要件	都道 府県	指定 都市	中核 市	一般 市区 町村	要件の考え方・理由	備考(改定内容等)	適合基準日
01 調査 票	1.1 調 査票作 成機能	1.1.221 備 考欄の活 用	備考欄処理		0380313	文字列入力欄の文字数制限を超過した場合は備考欄を活用し入力すること。 ※1 各調査票の備考欄に対する入力文字数の上限は人口動態調査事務システム標準仕様書(別冊)外部連携仕様「6.出力ファイル(備考)」に準拠すること。			◎	◎	文字数制限を超過する場合は備考欄を活用すること。		令和8年4月1日
01 調査 票	1.4 調 査票出 力機能	1.4.9 出力	出力		0380314	調査票の枠及びデータをまとめて印刷できること。 また、手書き用に調査票の枠のみの印刷ができること。			○	○			令和8年4月1日